

教 育 委 員 会 会 議 次 第

令和4年8月24日(水)

午前9時00分～

函南町役場 3階 教育委員会室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長の報告その他事務事業の報告

4 付議案件

議案第55号 令和4年度函南町一般会計「教育費」補正予算について

議案第56号 令和3年度函南町一般会計「教育費」歳入歳出決算について

議案第57号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

5 報 告

6 そ の 他

(1) 後援依頼について

ア 第10回 親守詩静岡県大会

イ 日本一のこどもハロウィン・パレード in みしま2022

ウ 函南町文化協会主催 第4回「函南日舞さくらの会」

エ 函南・みんなの平和展

オ メディメッセージ2022

カ 静岡県東部地区私立学校相談会

キ 第18回マンドリン定期演奏会

ク 映画「二宮金次郎」自主上映会

(2) 次回委員会開催予定

定例会 令和4年9月28日(水) 13:20～ 函南町役場 3階 教育委員会室

※午前中は、定例学校等訪問実施予定

教育長関係報告事項

令和4年8月24日（水）

月日	曜日	内 容
7月14日	木	・田方地区校長会長来庁（10：30～）
7月15日	金	・第5回史跡箱根旧街道災害復旧整備委員会（13：30～）
7月21日	木	・教育支援センター運営会議（10：00～） ・田方地区学校保健会理事会総会（15：30～） ・社会を明るくする運動地区集会〔丹那地区〕（19：00～）
7月22日	金	・小規模特認校準備会（15：00～）
7月25日	月	・課長等連絡会議（8：40～） ・企画会議（9：00～） ・赤十字奉仕団来庁（13：30～）
7月26日	火	・民生委員推薦会（13：30～）
7月28日	木	・静岡県市町教育長研修会（10：30～）
7月29日	金	・教育の情報化研修委員会（9：00～）
8月1日	月	・ファシリテーター研修会（9：30～）
8月2日	火	・保幼小連絡会（9：00～） ・道徳教育研究会（12：00～）
8月4日	木	・函南町議会臨時会（9：00～） ・表敬訪問 函南中学校陸上部（13：00～） 鈴木康允さん〔3年〕 第49回全日本中学陸上競技選手権大会男子400m出場 高橋実央さん〔3年〕 第44回東海中学校総合体育大会陸上競技大会女子200m出場 ・スポーツクラブ意見交換会（14：30～）※部活動の地域移行関連
8月5日	金	・表敬訪問 仁科恵子氏（9：30～） 静岡県知事褒賞受賞～男女共同参画社会づくりの先駆的な取り組み～ ・スポーツ推進審議会委嘱式（13：30～）
8月9日	火	・企画会議（9：00～）
8月10日	水	・田方地区教育長会（14：00～）
8月15日	月	・部活動の地域移行に関する意見交換会（15：00～）
8月16日	火	・かなみ仏の里美術館運営審議会（14：00～）
8月17日	水	・臨時企画会議（9：00～）
8月22日	月	・課長等連絡会議（8：40～） ・企画会議（9：00～）
8月23日	火	・高校生議会（13：30～）
8月24日	水	・定例教育委員会（9：00～） ・第1回函南町総合教育会議（13：10～）

議案第55号

令和4年度函南町一般会計「教育費」補正予算について

令和4年度函南町一般会計補正予算（第6号）のうち、教育委員会関係補正予算を別紙のとおり作成したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、教育委員会の意見を求める。

令和4年8月24日 提出

函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

令和4年度函南町一般会計補正予算（第6号）のうち、教育委員会関係補正予算について、町議会の議決を経るべき議案の作成にあたり、教育委員会の意見を求めるものです。

令和4年度 一般会計補正予算（第6号）9月補正予算

学 校 教 育 課 補 正 予 算

（ 事 務 局 事 業 ）

（ 小 学 校 管 理 事 業 ）

（ 中 学 校 管 理 事 業 ）

令和4年度 学校教育課補正予算（第6号）要求一覧表

歳 出

単位：千円

事業名	歳出科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
事務局事務事業	補償補填及び賠償金 補償金	386	25	411	著作権法に基づいて支出をする授業目的公衆送信補償金の試算の際に、消費税額を計上していなかったため、確定人数に合わせて必要額を増額する。 $120円 \times 1,752人 \times 1.1 = 231,264円$ （小学校通常学級） $60円 \times 37人 \times 1.1 = 2,442円$ （小学校特別支援学級） $180円 \times 884人 \times 1.1 = 175,032円$ （中学校通常教室） $90円 \times 21人 \times 1.1 = 2,079円$ （中学校特別支援学級） <u>合計410,817円(2,694人分)</u>
小 計		386	25	411	
小学校管理事業	需用費 消耗品費	589	60	649	(仮称)西小学校用地買収事業の契約書に必要な収入印紙代を増額する。 60,000円
	需用費 修繕費	8,002	330	8,332	桑村小学校普通教室に設置している昇降式黒板が、昇降器具の不具合により位置調整ができず授業に支障が出ているため、修繕費を増額する。 桑村小学校普通教室昇降式黒板修繕 $150,000円 \times 2教室(2 \cdot 6年生) \times 1.1 = 330,000円$
	公有財産購入費 土地購入費	0	134,500	134,500	西小学校用地の賃貸借契約をしている賃貸人から、土地の買い取り意向があるため、土地購入費を増額する。 (仮称)西小学校用地買収事業 1,762㎡ 1筆分
小 計		8,591	134,890	143,481	
中学校管理事業	需用費 燃料費	55	25	80	函南中学校技術科棟に設置している暖房設備の修理が完了し、使用が可能となったため、晩秋から冬場に使用する灯油代の燃料費を増額する。 $200L \times 113円 \times 1.1 = 24,860円$
小 計		55	25	80	
合 計		9,032	134,940	143,972	

令和4年度 一般会計補正予算（第6号） 9月補正予算

生涯学習課補正予算

（歳入）

（社会教育総務事務事業）

（文化センター管理事業）

（図書館等管理事業）

（仏の里美術館管理事業）

（社会体育総務事務事業）

（体育施設管理事業）

令和4年度 生涯学習課補正予算（第6号）要求一覧表

歳 入 (単位：千円)

充当先事業名	歳入科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
社会体育総務事務事業	諸収入 雑入 障害者スポーツ実施環境 の構築支援事業委託金	0	1,464	1,464	令和3年度公益財団法人日本パラスポーツ協会補助障害者スポーツ振興事業「障害者スポーツ実施環境の構築支援事業」の採択により歳入額を増額する。 委託金決定額 1,463,858円
合 計		0	1,464	1,464	

令和4年度 生涯学習課補正予算（第6号）要求一覧表

歳 出

単位：千円

事業名	歳出科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
社会教育総務事務事業	職員手当等 会計年度任用職員期末 手当	773	12	785	社会教育指導員の期末手当支給見込額のうち、不足分を増額する。
	旅費 費用弁償	63	19	82	社会教育委員の研修参加に伴う費用弁償を増額する。 18,600円（4人×2回分）
	需用費 修繕料	0	19	19	施設予約管理システム有線LANルーターの故障（1台）に伴う取替修繕費を増額する。 16,500円×1.1=18,150円
小 計		836	50	886	
文化センター管理事業	需用費 修繕料	689	217	906	文化センター大ホール1階の空調機の不具合に伴う修繕費を増額する。 197,000円×1.1=216,700円
小 計		689	217	906	
図書館等管理事業	備品購入費 庁用器具費	0	187	187	知恵の和館内消火器の耐用年数経過による買い替えのため、備品購入費を増額する。 8,500円×20本×1.1=187,000円
小計		0	187	187	
仏の里美術館管理事業	役務費 手数料 展示ケース調整作業手数料	0	465	465	展示ケースガラス扉の作動不具合による調整を行うため、手数料を増額する。 422,000円×1.1=464,200円
	備品購入費 庁用器具費	23	28	51	美術管内消火器の耐用年数経過による買い替えのため、備品購入費を増額する。 8,500円×3本×1.1=28,050円
小計		23	493	516	

事業名	歳出科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
社会体育総務事務事業	備品購入費 庁用器具費	80	1,464	1,544	令和3年度公益財団法人日本パラスポーツ協会補助障害者スポーツ振興事業「障害者スポーツ実施環境の構築支援事業」の委託事業採択に伴い、パラスポーツ用の備品購入費を増額する。 (ゴールボール・シッティングバレー用具他) $1,330,780円 \times 1.1 = 1,463,858円$
小計		80	1,464	1,544	
体育施設管理事業	需用費 修繕料	1,208	267	1,475	函南町体育館2階カーテンレールの破損に伴う修繕料を増額する。 $242,260円 \times 1.1 = 266,486円$
	工事請負費 工事請負費	1,246	571	1,817	東中学校体育館照明設備工事に伴う工事請負費を増額する。 $518,613円 \times 1.1 = 570,474円$
小計		2,454	838	3,292	
合 計		4,082	3,249	7,331	

議案第56号

令和3年度函南町一般会計「教育費」歳入歳出決算について

令和3年度函南町一般会計歳入歳出決算のうち教育委員会関係決算について、別紙のとおり作成したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、教育委員会の意見を求める。

令和4年8月24日 提出

函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

令和3年度函南町一般会計歳入歳出決算のうち、教育委員会関係決算について、町議会の議決を経るべき議案の作成にあたり、教育委員会の意見を求めるものです。

令和3年度決算について

令和4年8月24日 学校教育課資料

1 決算の概要について

(1) 歳入(特定財源)

令和3年度の学校教育課の特定財源の歳入決算額は、以下のとおりである。

事業名	R2歳入額(円)	R3歳入額(円)	差引額(円)	備 考
事務局事務事業	4,577,000	4,443,000	△134,000	国庫補助金2,973,000円 コロナ交付金1,064,000円 県費補助金406,000円
教育支援センター事務事業	3,110,000	5,110,000	2,000,000	ふるさと納税寄付金5,110,000円
小学校管理事業	121,842,205	928,505	△120,913,700	国庫補助金(繰越明許分)899,300円 諸収入29,205円
小学校教育振興事業	106,594,800	1,901,211	△104,693,589	国庫補助金315,000円 コロナ交付金1,586,211円
中学校管理事業	44,309,890	44,271,430	△38,460	国庫補助金(繰越明許分)599,700円 コロナ交付金43,670,000円 諸収入1,730円
中学校教育振興事業	54,286,433	1,002,038	△53,284,395	国庫補助金239,000円 コロナ交付金756,789円 諸収入6,249円
合 計	334,720,328	57,656,184	△277,064,144	

※備考欄の「コロナ交付金」の正式名称は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のことをいう。

令和2年度の特定財源の歳入総額は、57,656,184円で、対前年度比17.2%となった。

これは、函南町GIGAスクール構想実現のため、令和2年度に国庫補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し小学校管理事業、小学校教育振興、中学校管理事業、中学校教育振興事業において行ったクロームブック端末(児童生徒一人1台)導入やネットワークの利用環境整備が完了したため、歳入額が大幅に減額している。一方、中学校管理事業においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、東中学校校舎トイレの衛生環境を改善するための改修工事及び東中学校屋内運動場の感染対策に配慮した避難所スペースを確保するため、雨漏り対策として屋根の改修工事を実施した。また、各小中学校における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策消耗品購入の費用に充てるために国庫補助金(繰越明許分)を活用することになったことから、歳入予算の計上を行った。

歳入構成は、国庫補助金が3,527,000円6.1%、国庫補助金(繰越明許分)が1,499,000円2.6%、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が47,077,000円81.7%、県費補助金が406,000円0.7%、寄付金・諸収入が5,147,184円8.9%となった。

(2) 歳出

令和3年度の学校教育課の歳出決算額は、以下のとおりである。

事業名	R2歳出額(円)	R3歳出額(円)	差引額(円)
教育委員会事務事業	1,802,652	1,808,052	5,400
事務局事務事業	108,249,362	107,058,709	△1,190,653
教育支援センター事務事業	18,328,325	19,299,760	971,435
小学校管理事業	453,402,996	313,590,995	△139,812,001
各小学校管理事業	13,312,643	9,720,377	△3,592,266
小学校教育振興事業	154,538,826	51,045,177	△103,493,649
各小学校教育振興事業	3,083,795	2,496,271	△587,524
中学校管理事業	219,211,738	222,611,933	3,400,195
各中学校管理事業	6,516,767	4,949,792	△1,566,975
中学校教育振興事業	81,913,240	28,756,700	△53,156,540
各中学校教育振興事業	2,511,225	2,149,881	△361,344
合 計	1,062,871,569	763,487,647	△299,383,922

令和3年度の歳出総額は、763,487,647円で対前年度比71.8%となった。

これは、GIGAスクール構想関連支出について各種整備が進んだことにより歳出額が大幅に減額したことが主な要因である。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、中学校管理事業では東中学校校舎トイレ改修工事や東中学校屋内運動場屋根改修工事を実施している。

2 主要な事業と成果について

(1) 教育委員会事務事業

令和3年度は定例教育委員会を12回、書面開催を1回開催し、教育長提出議案64件(令和2年度は58件)を審議し教育

行政の向上に努めた。また、総合教育会議を年2回開催し、第六次函南町総合計画（後期基本計画）について教育委員会と町で進める教育行政の方向性を、また幼児期の子育て施策や小規模特認校制度導入等の方針等について協議を行った。そのほか、令和3年度に開始したGIGAスクールの取り組み状況や史跡箱根旧街道の災害復旧整備の見通しについて、報告を行った。

函南町学校運営協議会設置要綱に基づき設置された学校運営協議会（コミュニティスクール）においては、「地域とともにある学校づくり」の定着に向け、教育委員会事務局が支援し各学校において活動を実施した。

社会的な問題であるいじめ問題には、積極的に対応するため、函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会を年2回開催（2回目は書面開催）し、担当者レベルでの情報交換会も別途4回行った。これらの活動により未然防止対策、早期対応が図られたため、重大事態と認定するいじめ事案は発生せず、函南町いじめ問題対策専門委員会を開催することはなかった。

就学支援委員会は、専門家を交えて年4回開催し、障害のある幼児、児童及び生徒の教育上特別な支援を要する子どもたちの障害の種類、程度に応じた審議等を行った。

(2) 事務局事務事業

「ことばの教室」による指導は、就学前のことばの始めるときに訓練すると効果が高く、訓練によってすぐに改善されることもあるが、家族などの家庭環境による場合や、ことばだけの問題ではなく、発達全体に遅れがある場合など、個々に応じた訓練が必要となっている。専門的な知識と経験を持つ3人の言語聴覚士が89人の園児及び児童に対し、年間で延べ780回のことばの相談及び訓練を実施し個々の課題の改善に努めた。また、令和3年度は年度途中に65人の新規申込者のことばの相談を実施し、令和4年度のことばの教室への参加に繋ぐことができた。

若手及び中堅教諭等の資質向上のために田方地区2市1町（伊豆市、伊豆の国市、函南町）で創設した田方地区教員研修協議会に負担金を支出し、延べ231回の研修会が実施された。新型コロナウイルス感染症感染防止とオンライン研修の普及により集合型研修から配信型研修に切換えて実施された。

保幼小中の接続については、幼児教育センターの幼児教育アドバイザーが園長校長会や特別支援コーディネーター研修会を、また主幹教務主任者研修会に保幼小中関係者が一堂に参加し、接続連携を図った。

特別支援教育の推進については、子育て支援課と連携し、公立、私立園を巡回して、困り感のある園児・保護者を観察し、早期発見・早期対応を目指し対応している。

地域学校協働活動推進事業として地域学校協働活動推進員2人、地域学校協働活動支援員1人を配置し、学校での各種支援活動を実施した。登下校時の不審者対策としてボランティアで結成する「登下校見守り隊」を募り、児童、生徒の安全確保に努めた。令和3年度は51人の方々に、延べ1,332日の活動を行った。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、ICT支援員を延べ4人雇用し各小中学校へ配置した。新型コロナウイルス等の感染拡大により休校となった場合、リモート授業などにより学習保証が必要となるが、ICT支援員の配置により端末機器の操作や活用方法の指導など、万一の際にも円滑に実施できる体制づくりができた。なお、ICT支援員の配置により、通常の学校授業においても効果的な支援となった。

(3) 教育支援センター事務事業

教育支援センターにおいてはセンター長1人、教育相談員2人及び適応指導教室指導員3人、生徒指導支援専門監1人を配置し、業務を実施した。教育支援センター業務のうち、学校訪問については学校、児童生徒、家庭が抱える問題等の意識を共有できた。また、学習障害（LD）を抱える児童生徒への個別支援のため、訪問支援回数を増やして対応に当たった。個別相談件数についても「センターの相談業務」が保護者へ浸透してきたことから、件数は依然として多く、保護者が子どもに抱える様々な不安を取り除く一助となっている。研修会については、現状分析、支援方法の確認、情報共有及び最新の国・県の動向についての情報提供等を行ったほか、教職員向けの「愛着障害の理解」に関する研修も多く実施した。また、教育支援センター主催のもののほか、小中学校特別支援コーディネーターや通級指導担当教諭を対象とした研修会では、教育支援センターの役割や函南町の児童生徒の現状等を提示することにより、函南町の取組の成果や今後の課題を共有した。

令和3年度の不登校児童生徒数（年間30日以上欠席）は、小・中学校併せて72人であった。不登校児童・生徒を対象としてチャレンジ教室（適応指導教室）を週5回開催（水曜日は午前中のみ）し、体験活動、一人ひとりに寄り添った心理的支援、学習指導、集団生活への適応指導で学校復帰等が可能となるよう努めた。令和3年度は22人（小学生7人、中学生15人）が通級した（令和2年度25人（小学生5人、中学生20人））。

(4) 小学校管理事業

町独自の支援員（会計年度任用職員：延べ40人）として、特別支援学級及び通級指導教室の教諭の授業全体を補助する特別支援学級介助員を6人、円滑な集団生活への適応、基礎的な学習内容の習得等を支援するため学習支援員を5人、小学校1、2年生のクラスで授業や生活の指導をする低学年支援や普通学級において個別の支援に当たる特別支援教育の支援員を合わせて15人、学校図書館図書や読書コーナーの整理や読み聞かせを行うことで、読書により親しみやすい環境づくりのため学校司書3人を配置し児童の学校生活、学習活動の支援に努めた。また、学校事務員3人、用務員4人を配置し、学校の適正な管理、運営に努めた。

GIGAスクール構想において整備をしたネットワーク環境の日常的な保守管理、障害発生時の迅速な対応を業務委託することにより、円滑かつ快適な環境を提供できた。

施設関係では、維持及び改善のため7件の改修工事等（令和2年度19件）を実施した。主な改修工事としては、函南小学校消火栓ポンプ等改修工事、東小学校樹木伐採工事、丹那小学校職員室エアコン更新工事などを実施し小学校の環境整備に努めた。

各小学校管理に必要な消耗品を購入し、事務・保健・給食関係の管理消耗品として有効活用、また学校保健特別対策事

業費補助金（繰越明許分）を活用し新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に必要な消耗品を揃え、健全な学校運営を図った。

(5) 小学校教育振興事業

小学生の語学力向上及び国際感覚を養うため、令和2年度より外国人語学指導助手(A L T)を2人から4人に増員し、英語力の向上に努めている。

学習の充実を図るため、教材用備品の整備を図り教科教育の振興に資することができた。

経済的理由により就学困難な児童及び特別支援学級就学児童の経済的負担の軽減のため、就学援助を実施し保護者の支援を行うことができた(令和3年度対象児童94人(就学援助70人、特別支援24人)、令和2年度対象児童96人)。特に保護者にとって負担が大きい新入学学用品費は、支給時期を前倒して支給し入学準備に支障がないよう支援した。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、学習支援を目的とするオンライン教材(A Iドリルソフト)を導入した。新型コロナウイルス等の感染拡大により休校となった場合においても、学習保証が可能となる環境が整備できた。なお、オンライン教材を日常の授業においても活用することで、I C T教育の推進にも寄与した。その他授業で使用する学習用消耗品を購入し、計画的且つ円滑に教育振興を図った。

(6) 中学校管理事業

中学校の普通学級において、特別支援教育支援員を函南中学校、東中学校へそれぞれ1人ずつ配置し、個別の支援を行った。生徒の読書活動推進支援として図書司書1人を配置し、学校図書館の整理整頓と図書の充実を図った。また、用務員2人を配置し、学校の適正な管理、運営に努めた。

特別支援学級において、授業全体の補助をする特別支援学級介助員を函南中に2人、東中に1人配置した。

G I G Aスクール構想において整備をしたネットワーク環境の日常的な管理、障害発生時の迅速な対応を業務委託することにより、円滑かつ快適な環境を提供できた。

施設関係では、維持及び改善のため8件の改修工事(令和2年度9件)を実施した。主な工事としては、東中学校屋内運動場屋根改修工事、東中学校校舎トイレ改修工事、函南中学校給食棟ボイラー更新工事を実施し、中学校の環境整備に努めた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、東中学校トイレの改修を行った。和式便器を洋式化することや蓋付きの便器にしたことにより、排便時のウイルス飛散を防ぎ感染症拡大を防止することができた。また、町の指定避難所となっている体育館の深刻な雨漏りを解消するため、防水塗装工事を行った。今までは、フロア全体を使用することが困難な状態であったが、工事を行い改善することができたため、避難所の受入定員を満たした上で、感染症対策に必要なパーソナルスペースを確保することができた。

各中学校管理に必要な消耗品を購入し、事務・保健・給食関係の管理消耗品として有効活用、また学校保健特別対策事業費補助金（繰越明許分）を活用し新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に必要な消耗品を揃え、健全な学校運営を図った。

(7) 中学校教育振興事業

中学生の語学力向上及び国際感覚を養うため、外国人語学指導助手(A L T)を活用し、英語力の向上に努めた。

経済的理由により就学困難な生徒及び特別支援学級就学生徒の保護者の経済的負担の軽減のため、就学援助を行った(令和3年度対象生徒47人(就学援助34人、特別支援13人)、令和2年度対象生徒48人)。特に保護者にとって負担が大きい新入学学用品費は、支給時期を前倒して支給し入学準備に支障がないよう支援した。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、オンライン教材を導入した。新型コロナウイルス等の感染拡大により休校となった場合においても、学習保証が可能となる環境を整備できた。なお、学習支援を目的とするオンライン教材A Iドリルソフトを導入することで、より効果的なI C T教育の推進が可能となった。その他授業で使用する学習用消耗品を購入し、計画的且つ円滑に教育振興を図った。

令和3年度決算について

令和4年8月24日 生涯学習課資料

1 決算の概要について

(1) 歳入(特定財源)

令和3年度生涯学習課の特定財源の歳入決算額は、以下のとおりである。

事業名	R2 歳入額(円)	R3 歳入額(円)	差引額(円)	備 考
農村環境改善センター管理事業	2,393,230	0	△2,393,230	
コミュニティ推進事業	1,993,300	2,073,575	80,275	使用料 545,075 円 諸収入 1,528,500 円
ふれあいセンター管理事業	8,000	0	△8,000	
文化センター管理事業	12,265,320	1,327,220	△10,938,100	使用料 1,163,220 円 県費補助金 164,000 円
生涯学習推進事業	333,000	720,425	387,425	県費補助金 172,000 円 諸収入 548,425 円
文化財保護事業	6,700	15,886,700	15,880,000	国庫補助金 14,217,000 円 県費補助金 1,666,000 円 諸収入 3,700 円
図書館等管理事業	6,815,007	0	△6,815,007	
仏の里美術館管理事業	1,646,580	1,623,376	△23,204	使用料 1,025,300 円 諸収入 598,076 円
社会体育総務事務事業	705,000	1,295,000	590,000	寄附金 1,295,000 円
体育施設管理事業	4,611,350	1,800,600	△2,810,750	使用料 1,800,600 円
運動公園等管理事業	3,730,900	2,950,100	△780,800	使用料 2,950,100 円
木立キャンプ場管理事業	8,000	47,700	39,700	使用料 47,700 円
合 計	34,516,387	27,724,696	△6,791,691	

令和3年度の特定財源の歳入総額は、27,724,696 円で、対前年度比 80.3%となった。

これは、令和2年度には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を利用して行った事業が複数あったのに対し令和3年度には該当事業がなく、交付金の交付を受けていないことが大きな要因である。

歳入構成は、使用料収入 7,531,995 円で 27.2%、国庫補助金 14,217,000 円で 51.3%、県費補助金 2,002,000 円で 7.2%、寄附金が 1,295,000 円で 4.7%、諸収入が 2,678,701 円で 9.6%となった。

(2) 歳出

令和3年度の生涯学習課の歳出決算額は、以下のとおりである。

事業名	R2 歳出額(円)	R3 歳出額(円)	差引額(円)
農村環境改善センター管理事業	12,468,909	7,281,929	△5,186,980
社会教育総務事務事業	81,700,902	75,599,786	△6,101,116
コミュニティ推進事業	12,155,872	14,997,487	2,841,615
ふれあいセンター管理事業	8,083,248	8,812,073	728,825
文化センター管理事業	51,831,274	28,829,371	△23,001,903
生涯学習推進事業	2,377,985	2,905,269	527,284
文化財保護事業	7,227,113	25,277,193	18,050,080
文化財調査事業	3,981,005	2,659,153	△1,321,852
図書館等管理事業	72,471,691	70,520,403	△1,951,288
仏の里美術館管理事業	21,409,796	14,830,076	△6,579,720
社会体育総務事務事業	26,527,457	25,002,059	△1,525,398
体育施設管理事業	19,280,735	21,826,836	2,546,101
運動公園等管理事業	40,717,085	37,383,464	△3,333,621
木立キャンプ場管理事業	1,010,976	2,182,121	1,171,145
合 計	361,244,048	338,107,220	△23,136,828

令和3年度の歳出総額は 338,107,220 円で対前年度比 93.6%となった。これは、歳入同様、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に該当する事業の実施がなかったこと、また新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業を中止、または縮小開催したことも一因である。

2 主要な事業と成果について

(1) 農村環境改善センター管理事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設を貸出し停止とした期間があったが、感染防止確認事項を定め、利用人数や利用目的の制限等の感染防止対策を図ることにより貸出しを再開し、山間エリアの地域コミュニティに根ざした活動拠点や生涯学習活動の推進施設となるべく、適切な維持管理と利用促進を図り、経年劣化に伴う改修工事を行うことにより、快適な施設環境の維持と施設の長寿命化に努めた。

(2) 社会教育総務事務事業

少子高齢化・核家族化・高度情報化・グローバル化の進展等、目まぐるしく変化し続ける社会情勢の中で、社会教育に求められるニーズは多様化・複雑化している。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、各種事業や活動が中止、縮小等され、大々的な社会教育活動とはいかなかったが、社会教育委員をはじめとし、各々がそれぞれ関わりのある場所で地域や町民と、小規模でも密接な関わりを持ちながら、社会教育の推進を図った。

(3) コミュニティ推進事業

社会教育団体への活動助成補助金やコミュニティ推進事業費交付金にて各地区で行われているコミュニティ推進事業の拡充を図った。また、西部コミュニティセンターは、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、貸出し停止や利用制限の措置をとったが、近隣自治会の行事など、コミュニティの活動拠点として施設の貸出しを行った。

(4) ふれあいセンター管理事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、貸出し停止や利用制限を行いながら、円滑な施設利用の促進に努めた。また、社会教育事業の活動拠点として利用されており、生涯学習の推進を図った。

(5) 文化センター管理事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、施設の貸出しを停止した期間があったが、感染防止確認事項を定め、利用人数や利用目的の制限等の感染防止対策を図ることにより貸出しを再開し、文化振興や生涯学習・健全育成活動の場として施設利用を促進するとともに、適切な維持管理と経年劣化に伴う改修工事を行い、施設の長寿命化に努めた。

(6) 生涯学習推進事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の貸出し停止や利用制限が行われたことに加え、三密の回避により例年通りの事業は実施できなかったが、事業内容の見直しや、オンラインを使うことにより、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に対応した事業を実施し、社会教育の推進に努めた。

(7) 文化財保護事業

町民の文化財保護に対する意識が高まりを見せており、文化財を広く一般に公開し、活用することがこれまで以上に求められている。

史跡箱根旧街道災害復旧整備事業では、罹災した甲石坂の仮復旧工事を行った。また、雨水調査により、災害発生の因果関係を明らかにし、原因となった気象関係の調査を進め、各分野の専門家による災害復旧整備委員会を開催し、災害復旧整備基本計画策定に向け、整備方針や工法等について審議した。

箱根旧街道、柏谷横穴群、丹那断層をはじめ国・県・町指定文化財及び付随施設の維持管理を行い、安全対策と併せて文化財の保存継承及び公開を図った。

(8) 文化財調査事業

民間開発事業に伴う届出に基づき、文化財保護法第93条による埋蔵文化財の試掘調査を実施した。

過去の発掘調査によって出土した遺物の分類や測量図面・写真類のデータ化を含む整理作業を行い、発掘調査報告書作成に向けた図版の作成を行った。寺尾原遺跡の整理作業は、令和2年度の業務委託成果品を踏まえ、発掘調査報告書作成に必要な総括部分の原稿執筆を静岡大学 篠原和大教授に依頼し、図版や原稿の作成を行った。

(9) 図書館等管理事業

かなみ知恵の和館の維持管理を行うとともに、「読書のまち・かなみ」宣言の実現に向けて、町立図書館の運営を、職員16人(平日14人、休日11人、夜間6人)で行った。知識と情報の拠点として、住民に利用しやすい図書館を目指し事業を企画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により、多くは中止、延期となった。しかし、感染症対策を徹底し、縮小して安心安全に事業を実施した。

(10) 仏の里美術館管理事業

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために施設の休館や利用制限を行ったが、町が保有する仏像群及び町に関する歴史、芸術、民族等に関する資料の保存、展示並びに活用を図り、町民の教育、学術及び文化の発展に資するため、感染症対策を講じ、安全で快適なかなみ仏の里美術館の管理運営を行った。

(11) 社会体育総務事務事業

幅広い年代を対象にスポーツ大会やイベントの実施、各種団体や選手への補助等を行い社会体育事業の推進を図った。

また、スポーツ推進委員やNPO法人函南町体育協会、函南町スポーツ少年団等関係団体と協議・連携し、事業を実施した。

(12) 体育施設管理事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、施設の貸出しを一時中断したが、人数制限や消毒等の感染防止措置を講じ、利用者に安全・快適な施設環境を提供した。加えて、函南町体育館では、老朽化による水洗トイレの不具合を解消するための改修工事やその他小修繕を行い、機能改善を図った。

(13) 運動公園等管理事業

運動公園・柏谷公園野球場の維持管理・修繕・工事等を行うことにより安全で快適な施設の提供に努めた。
NPO法人函南町体育協会による教室や大会の開催、市町対抗駅伝大会練習会・記録会、その他一般利用者の活動等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらもスポーツの機会を確保し、健全な施設利用が図られた。

(14) 木立キャンプ場管理事業

豊かな自然の中で家族や友人とバーベキューやキャンプを行う場を提供し、野外活動をとおして心身共に健全な人間形成を図る場となった。

議案第57号

要保護及び準要保護児童生徒の認定について

令和4年度の要保護及び準要保護児童生徒の認定について、教育委員会の承認を求める。

令和4年8月24日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

保護者から就学援助申請が提出されたので、認定について教育委員会の承認を求めるものです。

函南町教育委員会後援申請一覧 (令和4年8月分)

	事業名	主催者名	開催日 開催場所	入 場 料	過去 承認	報告 有無
1	第10回 親守詩静岡県大会	親守詩静岡県大会実行委員会 大会実行委員長 杉山 裕之	令和5年3月12日(日) 日本平ホテル	無料	有	有
2	日本一のこどもハロウィン・ パレードin みしま 2022	三島大通り商店街まつり実行委員会 代表者 高木基	令和4年10月23日(日) 三島大通り商店街	無料	有	有
3	函南町文化協会主催 第4回「函南日舞さくらの会」	函南町文化協会 会長 佐藤 泰博	令和4年11月13日(日) 函南町文化センター 大ホール	無料	有	有
4	函南・みんなの平和展	函南・みんなの平和展実行委員会 委員長 澤村 正紀	令和4年9月15日(木)～令和4年9月19日(月) 函南町文化センター、函南町子育てふれあい・地域交流センター	無料	有	有
5	メディアメッセージ2022	メディアメッセージ2022実行委員会 会長 柴田 英治	令和4年11月26日(土)～令和4年11月27日(日) プラサヴェルデ (キラムッセぬまづ)	無料	無	
6	静岡県東部地区私立学校相談会	静岡県私学協会東部支部 代表者 渡邊 一洋	(1)令和4年10月30日(日)・(2)令和4年11月6日(日) (1)キラムッセぬまづ (2)ふじさんめっせ	無料	無	
7	第18回マンドリン定期演奏会	三島マンドリーノ ドルチェ 代表者 西 啓行	令和4年11月23日(水) 長泉町文化センター ベルフォーレ	無料	有	有
8	映画「二宮金次郎」自主上映会	静岡県立三島南高等学校同窓会 同窓会会長 長谷川 隆	令和4年10月22日(土) 函南町文化センター	有料	無	
9	以下余白					
10						

令和 4年 7月 10日

函 南 町 教 育 委 員 会
教 育 長 様

〒4310203

住 所 浜松市西区馬郡町4405-1

申請者 住 090-4261-1676

団体名及び申請者の氏名

親守詩静岡県大会実行委員会

古屋晃子

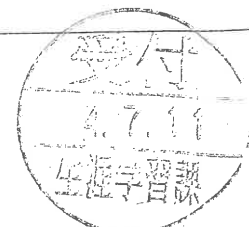


後 援 の 申 請 に つ い て

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事 業 名	第10回親守詩静岡県大会		
期 日	5年 3月12日(日)～ 5年 3月 12日(日) 10時 00分 ～ 12時00 分		
会 場	日本平ホテル		
主 催 者	団 体 名	親守詩静岡県大会実行委員会	
	代表者職名	大会実行委員長	
	代表者氏名	杉山 裕之	
	住 所	〒424-0212 静岡市清水区八木間町 2015 番地	
共 催 又 は 後 援 団 体 (予定も含む)	○有・無 (有の場合は 名称)	共 催	特定非営利活動法人子ども未来 -
		後 援	第9回大会は、静岡県、静岡県教育委員会、各市町および各市町教育委員会、諸団体等、計101 団体後援



裏面有

事業の対象者 と 事業の目的	幼児・小中学生とその保護者 幼保小中学校教員 保育士 その他健全育成に関わる団体企業 500 名 1 県内の小中学生に親守詩制作の機会と発表の場を設ける 2 親子の絆の再生を実現する		
事業内容	1 親守詩コンクール表彰式 2 親子の絆再生模擬授業 3 親子の絆再生講演 他		
函南町の後援を 必要とする理由	県内の小中学生に親守詩制作の機会と発表の場 を設けるため。 函南町の小学校 3 校から応募あり。		
入 場 料	有 料 無 料	有料の場合 金 額	0 円

【注意事項】

※ 開催の事業資料がある場合は添付してください。(前回開催のチラシ・パンフ等で可)

※ 申請に必要な事項が明記されている実施計画書等があれば、それらを添付し「詳細は別添資料参照」等と記入することにより各項目の記載を省略しても構いません。

※ 入場料・参加料等が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

【函南町が後援する事業】

事業の目的及び内容が函南町民全体の福祉、交流、協働、教育、文化、スポーツ等の普及向上に寄与すると認められ、利益、売名、政治・宗教活動を目的とせず、事業範囲が町民全体またはこれに準じた広域性を有する事業

第10回親守詩静岡県大会 予算書

1 収入の部

科 目	予 算 額 (円)
1 参加者収入	0
2 支援金収入	480,000
計	480,000

2 支出の部

科 目	予 算 額 (円)
1 準備・募集費	135,000
2 大会運営費	150,000
3 大会冊子費	45,000
4 会場費	150,000
計	480,000

子から親へ 親から子へ 愛わらぬ思いを贈る時のコンクール

おや もり うた

第10回

詩朗岡

会

親守詩とは、子どもが5・7・5で「感謝」、親が7・7で「親心」を表現する、親子の「キャッチボール短歌」です



OYAMORIUTA
親守詩

大切な家族と 世界に1つの短歌を作ろう

静岡県大会 静岡県知事賞

ご飯前

私がお米

たいとくね

玄関開けると

いい香り

親

子



前回大会の作品総数

3957句

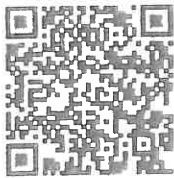
第九回親守詩静岡県大会賞(幼児の部)
マスクイヤー 暑いし嫌だ でもしたよ
マスク焼けた 暑い我が子

第九回親守詩静岡県大会賞(小学生の部)
あさがあが さくしゅんかんを まつあさに
味いたの事で 母は起きたよ

第九回親守詩静岡県大会賞(中学生の部)
お母さん 育ててくれて ありがとう
お父さんにも 一応、言えよ

第九回親守詩静岡県大会賞(一般の部)
日にあたり きらきら光る 赤い糸は
祖母の力作 手作り梅干し

申し込みフォーム



1 作品応募方法 裏面に①～⑦を書いて、ファックスまたは郵送、スマホからフォームでの応募が可能です。

①親守詩作品 ②部門 ③お名前(ふりがな)

④〇〇立〇〇学校(または団体名) ⑤年齢 ⑥住所 ⑦電話番号

FAX 054-333-5202

大会HPからの応募 検索 親守詩静岡県大会

- 募集対象
- 締め切り
- 各賞(予定)
- 発表方法
- 表彰式
- 応募条件

幼児部門・小学生部門・中学生部門・一般部門(高校生を含む)

2022年10月15日 当日消印有効

静岡県知事賞・静岡市長賞・静岡県教育長賞・静岡市教育長賞 他

入賞された方には12月下旬に表彰式のご案内をお知らせします。

2023年3月12日(日)日本平ホテルにて行います。

①前回大会×切以降に詠まれたものが対象です。(令和3年度および令和4年度)

②応募作品は子どもが詠んだ上の句に、親が下の句をつけた作品とします。

*子どもと「祖父母」、「担任の先生」など、子どもと身近な大人との組み合わせも可能です。

③静岡県在住の方であれば、年齢に関わらず何作品でもご応募いただけます。

④作品の発表や出版に関する著作権は親守詩静岡県大会事務局に帰属し、事前の承諾無く作品および作者名を展示発表会やWEB上で使用します。

言葉をつなぐ 心をつなぐ 親子をつなぐ おやもりうた 親守詩コンクール 作品募集!

表彰式：第10回親守詩静岡県大会 2023年3月12日 日本平ホテルで開催(予定)

親守詩(おやもりうた)とは、子どもが 5・7・5で、親が 7・7で、「感謝」と「親心」を表現する世界にたった1つの家族の短歌です。

親守詩コンクールについて

- ①募集対象 幼児部門・小学生部門・中学生部門・一般部門(高校生を含む)
- ②締め切り **2022年10月15日当日消印有効** *応募点数に制限なし
- ③各賞 静岡県知事賞・静岡市長賞・静岡県教育長賞・静岡市教育長賞 他
優秀作品は、全国大会に出品されます
- ④発表方法 入賞された方には12月下旬に表彰式のご案内をお知らせいたします
- ⑤表彰式 2023年3月12日 日本平ホテルで表彰を行います(予定)
- ⑥応募条件 ①応募作品は子どもの上の句に、親が下の句をつけた親子の作品とします。
②子どもと「祖父母」「先生」など、身近な大人との組み合わせも可能です。
③静岡県在住の方であれば、年齢にかかわらずご応募いただけます。
④作品の発表や出版に関する著作権は親守詩静岡県大会事務局に帰属し、事前の承諾なく作品及び作者名を展示発表会やWEB上で使用します。

親守詩のつくり方

七 まほつのはかん

七 すなおになれる

★下の句【家族・大人が作ります】

五 おたのしみ

七 おやすみまえの

五 ママとよむ

★上の句【おやさんが作ります】

★★★応募の仕方★★★

このチラシをそのままFAX⇒054(333)5202

親守詩静岡県大会

検索

きりとせん

★下の句(家族または大人)

★上の句(子ども)

あてはまるところを○で囲んで下さい

★ 幼児 小学生 中学生 一般(高校生を含む)

★ 令和3年度実施 令和4年度実施

がっこうめい 学校名 立 保育園・幼稚園 小・中・高等学校

または 団体名

ふりがな 名まえ

お名前

じっしがくねん(ねんれい)

実施学年(年齢) 年(歳)

御自宅住所(学校で応募の場合は学校住所)

〒

でん 話 電 話

FAX 054(333)5202

第10回親守詩静岡県大会概要

第10回 事務局長 松井靖国
〒410-2123 静岡県伊豆の国市四日町846-7
電話090-6648-6792
matsui.yasukuni@toss2.com

1 概要

- (1) 名称 第10回親守詩静岡県大会
(2) 目的 ①県内の幼児、小中学生、一般の方々に親守詩作成の機会と発表の場を設ける。
②親子の絆の再生を実現する
(3) テーマ 子から親へ 親から子へ 変わらぬ思いを贈ろう
(4) 基本方針 教師、学校、地域、行政、企業の共同による親子の絆再生
親子の絆が深まるまちづくりの推進
(5) 対象 幼児・小中学生とその保護者、保育士、小中学校教師、健全育成に関わる団体、一般
(6) 開催日時 令和5年3月12日(日) 10:00~12:00
(7) 場所 日本平ホテル
(8) 内容 ① 親守詩コンクール表彰式
② 親子の絆再生模擬授業
③ 親子の絆再生講演 他
(9) 主催 親守詩静岡県大会実行委員会
(10) 共催 NPO法人子ども未来
(11) 後援 静岡県、静岡県教育委員会、県内各市町、県内各市町教育委員会、県内企業等
(第9回大会は、県内101団体による後援)
(12) 協賛 県内企業、商店等
(13) 募集人員 500名(コロナウイルス感染状況により人数制限をし縮小する可能性有)
(14) 参加費 無料

2 大会日程

10:00~12:00
10:00 主催者挨拶
10:03 とびっきり楽しい授業(1名)
10:15 来賓祝辞 3名×3分 来賓紹介5分
10:30 休憩
10:40 表彰式
11:10 休憩
11:20 講演
11:50 閉会挨拶
11:55 写真撮影

3 親守詩コンクール

- (1) 目的 県内の子どもたちと親が、親守詩を制作することで、親子の絆を深める。
(2) 対象 応募資格 静岡県内の幼児 小学生 中学生 一般
応募区分 幼児の部 小学生の部 中学生の部 一般の部
(3) 目標作品数 10000点
(4) 応募期間 令和3年10月19日 から令和4年10月15日まで(当日消印有効)
(5) 応募方法 学校単位で応募、個人で応募
(6) 審査基準 ①子から親への感謝が十分に表現された作品。
②親子の絆が感じられる作品。
③親子のコミュニケーションの価値や楽しさが実感できる作品。
(7) 審査及び結果の公表 令和4年11月(予定)に厳正なる審査を行った上で、結果を速やかに報告する。
(8) その他 ①作品は本人と親との創作で、未発表のものに限る。
②著作権等による争議が生じた場合、親守詩静岡県大会実行委員会は一切の責任を負わない。また著作権等の侵害に抵触するおそれのある作品は応募を受け付けない。
なお、本人と親との創作でないことが判明した場合は、入賞を取り消す。
③応募作品の諸権利は、親守詩静岡県大会実行委員会に帰属する。
④1人数点応募することも可能だが、入賞する作品は1点までとする。
⑤応募作品の返却はしない。

(第1号様式)

令和4年7月14日

函南町教育長 様

住 所 三島市本町 12-15

グリーンテラス山田園 501

申請者 三島大通り商店街まつり実行委員会

氏 名 高木 基

(連絡先) 事務局 安藤

080-1624-0460

後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	日本一のこどもハロウィン・パレード in みしま 2022		
期 日	2022年10月23日 11時00分 ～ 16時00分		
会 場	三島大通り商店街		
主催者	団体名	三島大通り商店街まつり実行委員会	
	代表者	高木基	
	所在地	三島市本町 12-15 グリーンテラス山田園 501	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有・	共 催	
		後 援	三島市教育委員会、三島商工会議所、沼津市教育委員会、長泉町教育委員会、清水町教育委員会、伊豆の国市教育委員会、伊豆市、裾野市教育委員会

裏面があります。

事業の対象と目的	対象：三島市及び周辺地域の住民のみなさま 目的：ハロウィンは、米国を中心に盛んに行われるとても楽しい仮装行事です。毎年 10 月 31 日に行われ、子供から大人まで仮装して登校、出勤しているので、スパイダーマンの生徒が授業を受けていたり、スーパーマンがオフィスで働いていたりと一日楽しく過ごします。夕方には、お化けやヒーローに仮装した子供たちが、親に付き添われながら近所の家々を訪問し、お菓子をもらえる「トリック・オア・トリート (Trick or Treat)」があります。近所の家々では、かわいい子供たちの訪問に備えて、大きなボールに山盛りのお菓子を用意して待っています。「ハロウィン・パレード in みしま」では、そんな大人と子供の温かい世代を超えたコミュニケーションを大切に、子どもたちの異文化交流を楽しく体感していただきたく企画いたしました。さらに長期に渡るコロナ禍のために希薄となった人との交流を復活させたいと考えます。		
事業内容	11:00 歩行者天国開始 11:30 (事前申し込み制) ※以下検討中 コロナ禍のため、受付は密となるので、修正の検討中。 はがき(裏面タグ印刷)を郵送し、ハガキを持参した方のみ参加でき、店舗をまわり、トリックオアトリートをするとお菓子をもらえる 14:15 トリックオアトリート終了 14:30 大パレード開始 ※以下検討中 中止または異なった方法で開催 広小路～大社西交差点まで仮装した参加者がパレードします。 16:00 歩行者天国終了 イベント終了 片付け		
申請理由	より多くの地域市民に知っていただくため。		
入場料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

日本一のこどもハロウィンパレード in みしま 2022 事業計画書

1. 名称 日本一のこどもハロウィンパレード in みしま 2022

2. 目的 異文化のイベント「ハロウィン」を通じて、商店街を親子で練り歩くことで店主等大人と英語でのコミュニケーションを深め、そして異文化のイベントを楽しんでいただくことの目的

3. 実施主体 三島大通り商店街まつり実行委員会

4. 実施日時
2022 年 10 月 23 日 11:00～16:00

募集人数（事前申込制）2022 名

5. 実施内容

11:00 歩行者天国開始

11:30 （事前申し込み制） ※以下検討中

コロナ禍のため、受付は密となるので、修正の検討中。

はがき（裏面タグ印刷）を郵送し、ハガキを持参した方のみ参加でき、店舗をまわり、トリックオアトリートをするとお菓子をもらえる

14:15 トリックオアトリート終了

14:30 大パレード開始 ※以下検討中 中止または異なった方法で開催
広小路～大社西交差点まで仮装した参加者がパレードします。

16:00 歩行者天国終了 イベント終了 片付け

日本 1960

11月23日

in 2019

参加無料 限定 2019 名 (申込先着)

11:30~13:00
 11:30~14:15
 14:30~
 11:00~16:00です

昨年のベストコン1位!

パレードゴール地点で、スレセントが当たる！

追加刈込者：〇歳～小学生
中学生以上で刈込したい方は、刈込料を別添の用紙に記入し、刈込料を現金で納入してください。

※必ず保護者同伴でご参加ください
石神社前～大社西交差点までがバレーコートです
（バス上車、ずっと歩行海天田で現金！）

パレード場所：三軒大通り商店街

パレード場所：三越大通り商店街
内容：配布されるマップをもとに、協力店をまわります。
「トリック・オア・トリート」と言うと、お菓子かもら
えるよ！写真コンテストにも参加して！品名 Get! ココ
ンテスト投票は V6701 にて 10/26~11/4(曜日関係)

あなたは、どのハロウィン・ランチを
選ぶか。この日だけのハロウィン・ランチを
選ぶか。この日だけのハロウィン・ランチを

あなたなら、どのハロウィン・ランチ？

商店街のレストランがこの日だけのハロウィン・ランチを提供！

各店舗で食べるもよし！特設テラスで食べるもよし！

今年のハロウィン・パレードもランチを楽しもう！

※昨年は2,255人の
お申し込みがありました！

先行予約
START!

みしま大連リファンクラブに
登録すると、ハロウィン・パ
レードに

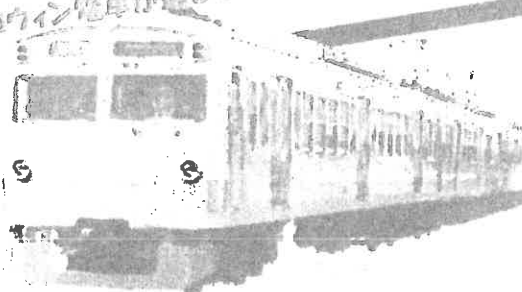
リードに
先行予約
できます！
詳しくは、
ウラ面を！

通常予約は、9/28～です！
WEBで

お申し込みはWEBで!

当日は子ども無料！

10



三島大通り商店街まつり実行委員会 役員名簿

担 当	氏 名	事業所名	TEL	FAX	商店会
実行委員長・小中島商栄会々長	高木 基	パリュエージェンシー	971-0051	971-4160	小中島
大中島商店会々長	後藤 好成	呉 竹	975-3210	976-6011	大中島
中央町商店会々長	谷村 和男	谷村印房	975-1409	975-1409	中央町
総務委員長	福田 道穂	心音道	973-8931	973-8931	小中島
総務委員	宇佐見 英男	ミシマトイス	975-0092	975-0452	小中島
総務委員	後藤 好成	呉 竹	975-3210	976-6011	大中島
総務委員	高橋 孝明	プティリュクス	975-0028	975-0028	中央町
企画委員長	石田 真朗	山田園	973-1500	973-1501	小中島
企画委員	安達 俊浩	小坂時計店	975-1345	975-1312	大中島
企画委員	谷村 和男	谷村印房	975-1409	975-1409	中央町
PR委員長	古田久美子	クマノミ雑貨店	972-2259	972-2259	小中島
PR委員	三好 徹史	NPOリベラヒューマンサポート	972-4344	972-4344	大中島
PR委員	綾部 剛	兎月園	972-2366	972-0567	中央町
ワゴン委員長	杉山 浩一郎	杉山刃物店	975-1296	975-0296	小中島
ワゴン委員	庄司 俊也	ヘアーサロンショージ	975-2912	975-2912	大中島
ワゴン委員	佐野 淳祥	エブリワンアカデミー	976-2873	941-5873	中央町
警備委員長	勝俣 淳	MIHAMAYA	975-0891	975-0831	小中島
警備委員	渡辺 英正	渡辺商会	971-4201		中央町
警備委員	加藤 元春	本町タワー	991-1400	991-1410	大中島

2022年7月14日

函南町教育委員会 生涯学習課
ご担当者様

三島大通り商店街まつり実行委員会

担当：安藤

〒411-0855 静岡県三島市本町 12-15
グリーンテラス山田園 501
電話 080-1624-0460

拝啓 平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

下記書類を送付いたしますのでご査収の上よろしくお願い申し上げます。

また、例年通り後援申請後、小学校、幼稚園、保育園にイベントのチラシを配布させていただきたくお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 教育委員会後援申請書
2. 役員名簿
3. 2019年のチラシ
4. 事業計画書

以上

(第1号様式)

令和4年7月28日

函南町教育委員会
教育長 久保田 浩子 様

申請者

住 所 函南町上沢 888 番地の 13
函南町文化協会
氏 名 会長 佐藤 泰博
(連絡先) 055(978)9278



下記のとおり事業を開催しますので函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	函南町文化協会主催 第4回 「函南日舞さくらの会」		
期 日	令和4年11月13日(日) 13:00~15:30		
会 場	函南町文化センター 大ホール		
主催者	団体名	函南町文化協会	
	代表者	会長 佐藤 泰博	
	所在地	函南町上沢 888 番地の 13	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	☒ ・無 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	なし
		後 援 (予定)	函南町教育委員会 函南町 静岡新聞社・静岡放送 伊豆日日新聞



事業の対象 と 目 的	事業の対象 函南町民と近隣市町民 目 的 (1) 日本伝統の日本舞踊の美しさと楽しさを多くの町民に披露し、函南の文化発展に努める。 (2) 日本舞踊を通して町民に「心の和み」を提供し、文化の薫り高い町づくりに貢献する。 (3) 合同交流発表会を通して、会員個々の一層のスキル上達と、単位団体相互の親睦を図る。		
事業内容	函南町文化協会に加盟している日本日舞5団体が2022年11月13日(日)に「函南日舞さくらの会」を開催する。 日本の伝統文化である日本舞踊を、函南町民と近隣市町民に広く披露する。 参加団体名 藤龍会・花文美の会・八舟会 粹翔流鳳艶会・藤菜緒会		
申請理由	函南町文化協会が上記の目的を達成するため、函南町教委員会のご後援をいただき、「函南日舞さくらの会」を開催して、日本古来の伝統文化である日本舞踊の披露と、その普及に努めたい。		
入場料	有 料 ☐ 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

事業計画書

令和4年4月21日

函南日舞さくらの会
実行委員長 藤間 伊世龍

1. 事業

函南町文化協会主催 第4回 函南日舞さくらの会 (令和4年度)

2. 事業概要

函南町文化協会に加盟している日本日舞5団体が2022年11月13日(日)に「函南日舞さくらの会」を開催し、各団体相互の交流親睦を図り、日本の伝統芸能を継承すると共に町民に「心の和み」を提供し、心豊かな町作りの為に貢献する。

3. 事業の対象

函南町民と近隣市町民

4. 目的

- (1) 函南町に於ける文化活動の向上を図る為に、日本の伝統芸能である舞踊を広く町民に披露する。
- (2) 舞踊を通して、町民に「心の和み」を提供し、心豊かな町づくりに貢献する。
- (3) 合同発表会をかいさいすることによって、各団体が連携を強化し日本の舞踊文化を守り育てる基盤作りに寄与する。
- (4) 合同交流会を通して、会員個々が更に芸道を追求し一層の上達を図る。

5. 開催日時

2022年11月13日(日) 13:00~15:30

6. 会場

函南町文化センター 大ホール

7. 出演団体

藤龍会・花文美の会・八舟会・粹翔流鳳艶会・藤菜緒会

8. 入場料

無料

9. 主催

函南町文化協会

10. 後援

函南町、函南町教育委員会、静岡新聞社・静岡放送、伊豆日日新聞

第三回

函南日舞

さくららの会

令和3年5月23日(日)

12時30分開場 13時開演

函南町文化センター 大ホール **入場無料**

出演団体：藤龍会 ・ 花文美の会 ・ 八舟会 ・ 粹翔流鳳艶会 ・ 藤菜緒会

主催：函南町文化協会

後援：函南町 函南町教育委員会 静岡新聞社 ・ 静岡放送 伊豆日日新聞

※ 新型コロナウイルス感染予防対策として収容人数制限をする場合があります。

(第1号様式)

2022(令和4)年8月4日

函南町教育委員会

教育長 久保田 浩子 様

住所 函南町柏谷 812-2

申請者

氏名

澤村 正紀

(連絡先)

055-978-6754

後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	函南・みんなの平和展		
期 日	(1) 9月18日(日) (2) 9月15日(木) ~ 9月19日(月)		
会 場	(1) 函南町文化センター・大ホール (9月18日のみ) (2) 函南町子育てふれあい・地域交流センター1F ギャラリー		
主催者	団体名	函南・みんなの平和展実行委員会	
	代表者	委員長 澤村 正紀	
	所在地	函南町柏谷 812-2	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有・ ☒ 無 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	
		後 援	函南町・(同時申請)

裏面があります。



事業の対象 と 目的	主として玉南町民の大人から子どもまで、誰もが幅広く参加可能です。 世界の国で唯一の被爆国とされる日本、その実相と核兵器の非人道性などを、知って頂く手助けとしたい。		
事業内容	① 展示の部 (9月15日(木)～9月19日(月)) 世界的にも知られる絵画「原爆の図」(所蔵・展示は久米美術館：埼玉県東松山市)の複製2点を中心に、関連資料を紹介。 (2) 映画の部 (9月18日(日)) 「ヒロシマへの誓い——サロー・節子とともに——」(別添チラシ参照)		
申請理由	玉南町は、「核兵器廃絶平和都市宣言」を制定(平成6年6月)した。その宣言を生かせるものと考えます。		
入場料	有 料 ・ <u>無 料</u>	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

19

「同情は求めています。
人々に行動してほしい。
そのために私は
語り続けるんです。」

——サーロー節子

2021年核兵器禁止条約発効が実現する！ その大きな原動力として世界で最も尊敬される女性の一人となったサーロー節子の原点を探ったドキュメンタリーがついに登場した。父竹内道と結婚しての後の人生の大半をカナダで過ごし、核兵器廃絶のための活動に傾けるサーロー節子と、広島出身で被爆二世である、ニューヨーク在住の竹内道子が出会った時がその原点であった。二人は偶然にも広島女学院の卒業生同士。原爆落下の朝、節子は広島で母を助けたのか、その後の彼女の人生がどう変わっていったのかが本作品のプロデューサーでありナレーターを務める道の眼を通して描かれていく。それは、道にとっても被爆二世である自身の真実を見つける旅となるのであった。

無声映画祭の優れたテレビ番組に送られるエミー賞や全米映画協会賞を受賞しているスーパー・ストリッカー。撮影は2015年から4年をかけて、ニューヨーク、広島、トロント、オスロで行われた。クライマックスは2017年12月、ICAN（核兵器禁止国際キャンペーン）が受賞したノーベル平和賞の授賞式で節子が行ったスピーチ。何十年の経緯の声を代弁して話す節子の言葉のひとつひとつには、とてつもない情熱の涙と敬愛の思いが込められ、圧倒的な迫力で見守る者の胸を揺さぶる。



廃墟の中の日赤病院（1945年）写真提供：菊池俊高



the VOW from HIROSHIMA



サーロー節子 広島女学院高等女学校在学中に学徒動員先にて被爆。1954年にアメリカのリンチバーグ大学に留学。カナダ人のジム・サーローと結婚しカナダのトロントに移住する。1965年よりソーシャルワーカーとして活躍しカナダで最高の名誉であるカナダ勲章を受章した。世界各地にて英語での被爆証言活動を通じてICAN発足当時よりICANを代表して国連や国政会議にて被爆者としての体験を語り多くの人に影響を与えている。

竹内 道（プロデューサー） 広島女学院高校卒業後心理学を勉強するために渡米。ワグナー大学心理学部卒業後当時の電通アメリカ（DCA）に入社。1988年、アークメディア（Arc Media, Inc.）を設立。アメリカ市場における日本企業の事業の立ち上げを支援してきた。2010年4月より国連NGO、Youth Arts New Yorkに参加。祖父竹内節は広島日赤病院初代院長時に被爆。母竹内孝子は入市被爆をした。

2019年 アメリカ映画 / 82分

配給：3 DAP Japan LLC.「ヒロシマへの誓い」配給委員会
©2019 Not Just a Survivor Film, LLC

公式ホームページ hiroshimaenochikai.com

2021年全国劇場公開作品

年少者映画審議会推薦

2022年9月15日(木)~19日(月)

函南・みんなの平和展

映画上映 ヒロシマへの誓い

(邦画)

同情は求めていません。
人々に行動してほしい。
そのために私は
語り続けるんです。」

——サーロー節子

核兵器禁止 ノーベル平和賞受賞

日時 9月18日(日) 午前の部 10時~12時 午後の部 14時~16時 (開場 各30分前)
会場 函南町文化センター 大ホール <入場 無料> 駐車場あり
後援 函南町 教育委員会後援(申請中)

展示 原爆の図 (複製) 丸木位里、俊



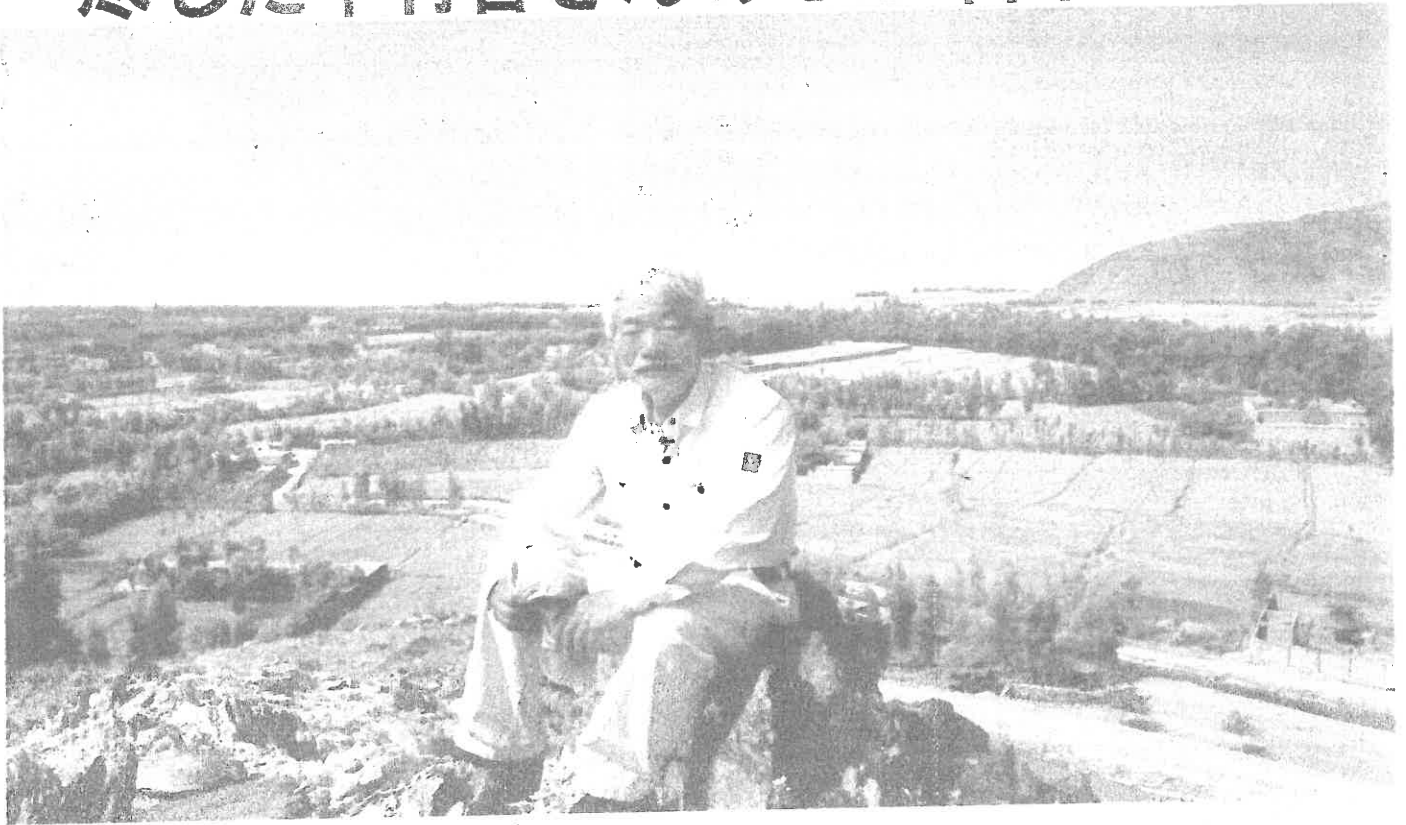
日時 9月15日(木)~19日(月) 午前 9時30分~午後5時
会場 函南町 知恵の和館(文化センター東) 1F ギャラリー <入場無料> 駐車場あり
後援 函南町 教育委員会後援(申請中)

主催 函南 みんなの平和展 実行委員会 (090) 4254-7874

（21年）
令和2年 実施

武器より命の水を！ アフガニスタンの医療と農業復興に 尽した中村哲さんの35年間

入場無料



11月14日（土） 10:30～20:00

15日（日） 9:00～17:00

函南町文化センター多目的ホール

（函南町上沢8 1 055-979-1733 無料駐車場有り 伊豆箱根鉄道大場駅徒歩15分）

☆「アフガニスタン用水路が運ぶ恵みと平和」DVD上映
（随時30分間上映）

☆医師中村哲さん（PKS総院長/ペシヤワール会現地代表）の
足跡写真展 「アフガニスタンの大地と平和を拓く」

コロナ防止のため、マスク着用、手指の消毒、3密注意にご協力ください。

主催 平和写真展実行委員会 連絡先 澤村 090-4254-7874

(第1号様式)

令和4年 8月 8日

函南町教育長 様

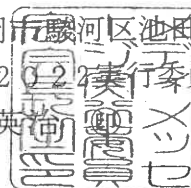
申請者

住 所 〒422-8005 静岡県駿河区池田 156-2

メディメッセージ2022実行委員会

氏 名 会長 柴田 英治

(連絡先) 054-655-6600



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	メディメッセージ2022		
期 日	令和4年11月26日(土)～ 令和4年11月27日(日) 10時 00分 ～ 16時 30分		
会 場	プラサヴェルデ (キラメッセぬまづ 多目的ホール)		
主催者	団体名	メディメッセージ2022実行委員会	
	代表者	会 長 柴田 英治	
	所在地	〒422-8005 静岡県駿河区池田 156-2	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	☒ 有 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	
		後 援	沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、裾野市、富士市、富士宮市、御殿場市、清水町、函南町、長泉町、小山町、静岡県、及び各教育委員会 (予定)

裏面があります。



事業の対象 と 目 的	(対象者) どなたでも (事業の目的) 医療現場の姿や医療技術を地域の皆様に公開して対話を図り、よりよい医療環境の実現を目指す。 ・治療や予防、検査に関する情報と体験を提供し、健康的に生きる社会を目指す。 ・若い世代に医療の仕事を知っていただき、担い手づくりに貢献する。 ・医療現場の取組みを発信し、地域社会全体で支える医療環境の実現を目指す。		
事業内容	急性期における医療技術・医療情報の紹介 ・オペ室の再現とシミュレータを使用した腹腔鏡手術の実演ほか 地域医療を支える仕事や医療技術の紹介 ・ドクターを中心とした医療チームによるトークライブの開催ほか		
申請理由	8市4町の東部地域広域のイベントとして、小中学生を含めた幅広い方の参加を期待しているため。		
入場料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

メディメッセージ2022収支予算（案）

収入(円)	内 容	支出(円)
22,400,000	運営協力金(協和医科器械株式会社)	
	会場賃借料	2,500,000
	展示物作成・会場設営・撤去費	10,000,000
	会場演出・運営費	3,500,000
	会場デザイン・会場内ツール作成費	1,500,000
	開催告知ポスター・チラシ作成費、新聞広告費	3,000,000
	Webサイト・テレビCM作成費・媒体費	1,500,000
	企画運営雑費(郵便代、事務用品他)	400,000
22,400,000	合計	22,400,000

メディメッセージ2022実行委員会会則

第1条 名 称

本会はメディメッセージ2022実行委員会（以下「実行委員会」という）と称する。

第2条 目 的

実行委員会は、静岡県の医療環境向上及び健康増進の普及を目的として行う「メディメッセージ2022」の開催と円滑な運営を目的とする。

第3条 業 務

実行委員会は、第2条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 開催のための準備及び打合せ等
- (2) 開催運営に必要な人材・人員の確保
- (3) 開催に必要な資材及び機材等の手配
- (4) 関係機関及び関係者への協力依頼
- (5) 告知及び広報に関する協力

第4条 事務局

実行委員会の事務局は、協和医科器械株式会社（静岡県静岡市駿河区池田156-2）に置き、連絡業務及び事務処理を行う。

第5条 委 員

実行委員会の委員は、次に掲げる団体委員によって構成される。

- (1) 静岡県 健康福祉部
- (2) 一般社団法人静岡県医師会
- (3) 公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター
- (4) 協和医科器械株式会社
- (5) 株式会社アルバース

第6条 役 員

実行委員会は、会長、理事を役員として置く。

第7条 役員会

- (1) 役員会は、第4条の事務局及び第6条の役員で構成する。
- (2) 役員会は、実行委員会の運営等に関する重要事項を決定する。

第8条 運営費用

実行委員会の運営費用は、協和医科器械株式会社他の負担による。

第9条 細 則

本会則に定めない重要事項もしくは、改定を要するときは第7条の役員会がこれを定める。

(附則)

この会則は令和4年6月1日から施行し、メディメッセージ2022終了まで適用する。

メディメッセージ2022実行委員会の概要

名 称	メディメッセージ2022実行委員会		
事務局	[代表連絡先] 所在地 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田 156 番地の 2 連絡先 協和医科器械株式会社 電 話 054-655-6600 FAX 054-265-7730		
設 立	令和4年6月1日		
役 員	会 長	柴田英治	協和医科器械株式会社 代表取締役社長
	理 事	紅野聖二	静岡県 健康福祉部理事
	理 事	小林利彦	一般社団法人静岡県医師会 副会長
	理 事	植田勝智	公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構 ファルマバレーセンター長
	理 事	河野秀行	株式会社アルバース 代表取締役社長

新型コロナウイルスを経験し、メディメッセージは新しい時代へ。



開催日時

11.26^土・27^日 10:00～16:30

会場

キラメッセめまづ
—— 多目的ホール

<継続キャッチフレーズ>

みんなの力を、医療の力に。

<新たなコンセプト>

静岡県を、大きなひとつの医療環境に。

今も尚続く、新型コロナウイルスへの感染対策と対応。

パンデミックを経験して学んだことのひとつが、

「一人ひとりが感染拡大を防ぐために行動し、地域社会全体で対応する」ということでした。

これまでもメディメッセージで取り組んできた「大きなひとつの医療チームをつくる。」を

実現していくためにさらに真剣に取り組み、

地域の皆様や担い手となる子どもたちへとはたらきかけていきます。

体験とともに、地域社会と人を動かす「メッセージ」を発信します。

みんなが学べば、医療は変わる！

医療現場の

今を知ろう！

命と健康を守る医療技術の中から代表的なものを紹介。
感染拡大を防ぎながら検査や治療に取り組む医療現場の体制や働く人たちの想いも届けます。

医療に関わる

仕事を知ろう！

体験やデモンストレーションによって医療に関わる仕事について知るコーナーを設置。イベント後も医療の仕事を知る仕掛けをつくります。

医療の未来を

考えよう！

医療現場の今、医療の仕事について知っていただいたうえで、これからの医療技術や医療環境、一人ひとりの健康について考える機会をつくっていきます。

基本構成と考え方

Webサイトとイベントの連動性を強化して、より多くの人に伝わるカタチへ。
来場者の人数を管理しながら、より多くの人たちに情報を届ける仕組みをつくりあげていきます。

<告知と同時に啓発>

告知・啓発及び 事前エントリー

※全体かコーナー毎かは要検討

開催告知と同時に、静岡県の医療環境について啓発していきます。

<機会の提供>

イベント実施

集客人数をコントロールしながらイベントを実施します。

<体験と情報を拡散>

開催後公開

medi-message.com

静岡県「医療のしごと辞典」構築

イベントでの出来事を収録・編集して公開していきます。

医療に関わる仕事を知ろう！

会場内の各コーナーにおいて、ご協力いただく各団体に関連する職業を紹介していきます。

医療の未来を考えよう！

トークライブやメッセージの交換を通じて、地域医療の未来について考える機会をつくります。

トークライブ

メッセージ交換

静岡県のデータ

医療現場の今に触れよう！

「検査」「健康・予防」「治療」の3つにテーマ分け。地域からの疑問に答えながら本物の医療技術を体験していただきます。

検査

臨床検査技師の仕事

放射線技師の仕事

PCR検査って？

血液や細胞から何がわかる？

検査でわかる体のデータ

画像診断の世界へようこそ

内視鏡ならここまで見える

健康 予防

看護の仕事

管理栄養士の仕事

歯科医師・衛生士の仕事

理学療法士の仕事

作業療法士の仕事

歯の健康はどうやって守る？

遠隔診療ってどうやるの？

食事バランスの知識

体を動かすリハビリ

指先を動かすリハビリ

寄り添う医療

治療

救命救急の仕事

薬剤師の仕事

医師の仕事

オペ室の医療機器

腹腔鏡手術って？

救命救急の一員になろう

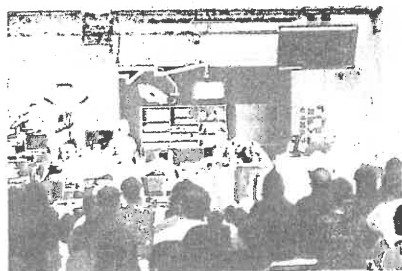
薬の役割

心臓カテーテルって？

手術のトレーニング

ギブスカッター

オンラインを活用した新たな形の実演&トークライブを開催



腹腔鏡手術の実演



心臓カテーテルの実演



医療チームによるトークライブ



オンライン活用

①出演者のオンライン参加

医療の現場と会場をつないでのオンライントークライブ

②会場よりライブ配信

会場での様子をライブ配信

③オンデマンド公開

収録・編集した実演・トークライブの様子を後日配信

オペ室再現スペースを実演&トークライブ会場として使用

※状況に応じて調整していきます

	1日目(土)		2日目(日)	
	実演	トークライブ	実演	トークライブ
10:00	※シュミレータテスト等 心臓カテーテル実演		※シュミレータテスト等 心臓カテーテル実演	
11:00		トークライブ		トークライブ
12:00				
13:00		トークライブ		トークライブ
14:00	※オペ実演セッティング 腹腔鏡手術実演		※オペ実演セッティング 腹腔鏡手術実演	
15:00				
16:00				
	※心臓カテーテル実演準備			

会場の入場制限・来場者の管理について

キラメッセぬまつの制限基準 ※2022年5月時点

◆多目的ホール（全面使用）

収容人数3,672名 ※100%以下（大声なし） ※スクール形式の上限で設定

◆コンベンションホールA（半面利用）※スタッフ控室

収容人数336名 ※100%以下（大声なし）

<現状の入場者数管理>

参加者名簿の作成、事前予約の実施などで催事参加者を把握（氏名・連絡先等をリスト化）し、万が一に感染が発生した場合の対応に備えること

- 学会等と同様に、Webアプリケーションサービスを使用した事前エントリー制にして人数を把握します。当日飛び込みで来られた方については、キャパシティに余裕があればその場で登録をしていただき入場していただきます。
- 必ず受付を通していただくために、リストバンドや不織布シールなどを利用して受付したことが判別できる状況をつくります。

感染対策の考え方

社会の緩和状況をみながら対応を検討していきますが、現時点では次のように考えています。

協力していただく医療従事者の方にリスクが及ばないように物理的な対策を講じます。

- 防護衣等による医療従事者に対する飛沫防止
- 実演等における一般来場者の方との一定距離の確保
- 一般来場者とは別の導線・待機場所の確保
- 一部オンラインの活用

一般来場者の方に対しては、下記の対応をお願いしていきます。

- 受付時に検温・手指の消毒を行っていただく
- 屋内ではマスクの着用を徹底していただく
- 館内での飲食は行わない

会場全体では下記の対応及び対策の検討を行います。

- 搬入口を一部解放し、換気を行う
- 実演等についてはキャパシティを決め、立ち見を制限する
- 体験コーナー等の待機列については一定の距離を保つようマーク等で促す

開催概要

名称	メディメッセージ2022
開催目的	静岡県によりよい医療環境を築いていくために、地域の皆様に医療現場の今を伝え、未来の医療について考えるきっかけを提供します。
開催テーマ	みんなの力を、医療の力に。
主な内容	● 医療現場の今に触れていただくための医療技術体験・デモンストレーション ● 医療の仕事を知っていただくための職業紹介・職業体験 ● 医療の未来を考えていただくためのトークライブやメッセージの交換
開催日時	2022年11月26日(土)・27日(日) 10:00～16:30 ※設営・搬入は11月24日(木)・25日(金)
会場	キラメッセぬまづ 多目的ホール (3,875㎡ 約43m×90m) 沼津市大手町一丁目1番4号
来場対象者	【入場無料】 静岡県内の生活者の皆様 地域医療の未来を担う子供たち
主催	メディメッセージ2022実行委員会 (静岡県／一般社団法人静岡県医師会／公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター／協和医科器械株式会社／株式会社アルバース)
運営・事務局	協和医科器械株式会社 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田156-2 TEL054-655-6600
運営協力・機材協力	協和医科器械株式会社 株式会社アルバース 医療福祉機器メーカー各社
協力団体 ※過去の開催の実績より	(一社) 静岡県歯科医師会／(公社) 静岡県薬剤師会／静岡県病院薬剤師会／(公社) 静岡県看護協会／(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会／(一社) 静岡県臨床工学技士会／(公社) 静岡県放射線技師会／(公社) 静岡県理学療法士会／(公社) 静岡県作業療法士会／(公社) 静岡県栄養士会／駿東伊豆消防組合／日本大学短期大学部／プラサヴェルデ
後援団体 ※過去開催の実績より	沼津市／三島市／伊豆市／伊豆の国市／裾野市／富士宮市／富士市／御殿場市／清水町／函南町／長泉町／小山町／静岡県教育委員会／沼津市教育委員会／三島市教育委員会／伊豆市教育委員会／伊豆の国市教育委員会／裾野市教育委員会／富士宮市教育委員会／富士市教育委員会／御殿場市教育委員会／清水町教育委員会／函南町教育委員会／長泉町教育委員会／小山町教育委員会
URL	https://www.medi-message.com/

来場報告

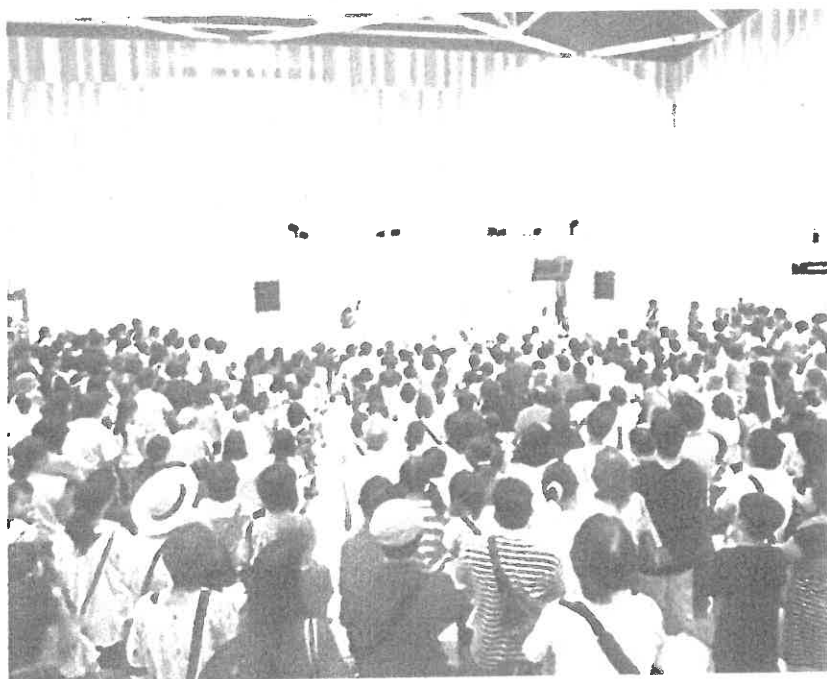
「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」に挑む技術を大公開

メディメッセージ2013

8月31日(土) 9月1日(日)

会場 キラメッセぬまつ 多目的ホール

時間 10:00~16:30 入場無料 一般公開



「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」に関わる医療技術・医療情報の公開とともに、医療に関わる仕事について紹介することができました。ご来場いただいた皆様から医療関係者へ向けてたくさんのメッセージをお寄せいただき、希望と勇気をいただきました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

開催日	天候	来場者数
8月31日(土)	晴れ	約3,000人
9月1日(日)	晴れ	約4,000人
		約7,000人

主催 メディメッセージ2013実行委員会

独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター
静岡県立静岡がんセンター
沼津市立病院

沼津医師会／三島市医師会／静岡県看護協会／沼津市消防本部／
静岡県臨床衛生検査技師会／静岡県臨床工学技士会／
静岡県放射線技師東部地区会／日本大学短期大学部

(第1号様式)

令和4年 8月5日

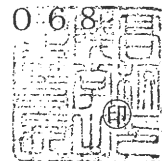
函南町教育長 様

申請者

住 所 富士宮市星山1068

氏 名 渡邊 一洋

(連絡先) 054-24-4811



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	静岡県東部地区私立学校相談会		
期 日	令和4年10月30日(日) 沼津会場 11月 6日(日) 富士会場		
会 場	10/30(日) キラメッセ沼津 11/ 6(日) ふじさんめっせ		
主催者	団体名	静岡県私学協会東部支部	
	代表者	渡邊一洋	
	所在地	富士宮市星山1068番地 星陵高等学校内	
共催又は	有・無	共 催	



後援団体 (申請予定 を含める)	(有りの 場合はそ の名称)	後 援	静岡県東部市町村各教育委員会 (予定)
------------------------	----------------------	-----	---------------------

裏面があります。

事業の対象 と 目 的	静岡県東部私立学校 11 校の教育理念や学校の特色を来場者に紹介し、特に高校入試を控えた中学校 3 年生及びその保護者の進路選択の一助となることを目的とする。		
事業内容	各校ブース形式での個別相談 展示コーナーの設置 各校制服の展示		
申請理由	函南町所在の中学校（函南中・函南東中）の生徒・保護者・教職員に対して、静岡県私学協会東部支部が企画する事業の趣旨を正しく伝達し、理解を得るため。		
入場料	有 料 ・ <u>無 料</u>	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

令和4年度静岡県東部地区私学展予算書

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	概 要
補助金	300,000	私学振興会広報活動費
助成金	200,000	地区私学展等経費
前年度繰越金	171,704	
計	671,704	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	概 要
印刷費	90,000	ポスター、チラシ印刷
会場費	290,000	会場使用料
通信費	30,000	中学校、担当者会議通知郵送代
消耗品費	20,000	資料袋、用紙、封筒、写真代
保険料	20,000	参加者傷害保険料(300人分)
会議費	100,000	事務会議費、意見交換会補助
雑費	10,000	振込手数料等
予備費	111,704	
計	671,704	

科目間の流用を認める

2022年度

第6回

静岡県東部地区私立学校相談会

実施要項

10月30日（日） キラメッセぬまづ

11月 6日（日） ふじさんめッセ

静岡県私学協会東部支部

私立学校相談会実行委員会

2022年度幹事校：星陵高等学校

【参加校（幹事校輪番順）】

静岡県富士見中学校・高等学校
誠恵高等学校
御殿場西高等学校
知徳高等学校
沼津中央高等学校
日本大学三島高等学校・中学校
桐陽高等学校
加藤学園暁秀中学校・高等学校
加藤学園高等学校
飛龍高等学校
星陵中学校・高等学校（今年度幹事校）

【タイムスケジュール】

会場準備（幹事校：加藤学園高等学校）

8:00 搬入開始／各校ブース設営

8:45～ 開会式

10月30日（日） 私学協会代表挨拶：

幹事校代表挨拶：星陵高等学校 渡邊校長

諸連絡：星陵高等学校 松田総務部長

11月 6日（日） 幹事校代表挨拶：星陵高等学校 渡邊校長

諸連絡：星陵高等学校 松田総務部長

9:00 開場

15:00 受付終了

15:15 片付け開始

※相談者が退出していない場合は、ご配慮をお願いします。

終了次第 閉会式

幹事校代表挨拶：星陵高等学校 下村副校長

諸連絡：星陵高等学校 松田総務部長

【共通事項】

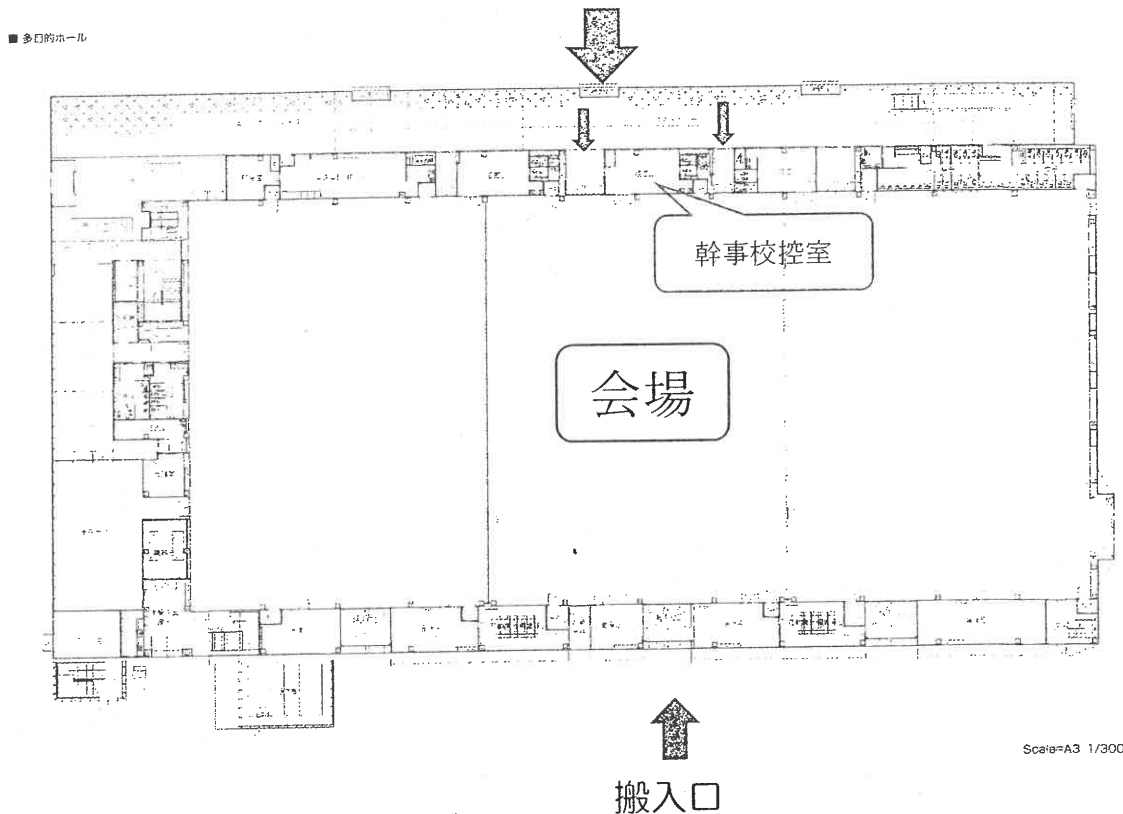
- 整理券を発行する場合は、学校名を記載し、各校で管理する。
- 昼食は各自で持参し、指定の場所で摂る。
- 資料や学校グッズなどの配布は、各校ブースにて行う。
- 他校ブース前での呼び込みはしない。
- 東部地区全中学校に、各地区合同学校説明会にてチラシを配布する。各参加校においては、チラシ PDF を HP に掲載する。
- 参加者へのアンケートは昨年度のフォームを使用する。
- 保険の加入は幹事校が行う。
- 荒天やその他の事情で急遽中止となる場合は、加藤学園高等学校ホームページにて周知する。
- 各校担当者は 5～10 名程度とする。
- パーテーションに掲示する校名・会場前看板は幹事校で準備する。
- 各会場に資料置き場と制服展示コーナーを設置する。
- ブース内や背面壁での動画再生や幟旗使用は可とするが、音声は他校のブースの迷惑にならないよう、控えめにする。
- 各会場の配電盤からの電源配線は幹事校で行うが、ブースへの引き込みは各校で行う。(コードリールなど)
- 各校で乗り合わせて駐車場利用台数を減らす。

【新型コロナウイルス対策】

- 会場入り口にて検温およびアルコール消毒の呼び掛けを実施する。
- 発熱等、体調不良者の入場はお断りする。(「体調不良者のご入場はご遠慮いただきます」といった告知看板を設置する。)
- 入場の際に記名・住所・連絡先を記載してもらい、万一参加者の中で新型コロナウイルスの発症者が出た場合には追跡調査が可能なように対応する。
- 参加者には事前にマスクの持参・着用を呼びかけるが、マスクを忘れてしまった参加者には入り口にてマスクを配布する。
- 2会場とも常時換気を徹底する。
- 各校に除菌剤を配布し、各校のタイミングで適宜ブースの消毒を行う。
- 受付・呼び込み・ブースを担当する各校教職員もマスクの着用を徹底する。
- 消毒用アルコール・予備のマスク・除菌剤については幹事校が準備する。

2022年10月30日(日)【沼津会場 キラメッセぬまづ】

【会場図】



【会場確認事項】

- 搬入口南側の駐車スペースは、各校1台まで駐車できる。その他の車は一般駐車場を利用できる。(全高2.1m以上の車は搬入口前に駐車する。当日は別会場でのイベントあり)
- 駐車券リーダーを受付に設置する(半額)。
- 各ブースは長机2台、椅子16脚とする。不足分の机や椅子の持ち込みは可とするが、他ブースの迷惑にならないよう配慮する。
- 床面への固定は弱粘着テープ(養生テープなど)を各校で準備する。また、パーティションへの固定はメンディングテープまたは画鋲のみ使用可とし、テープは幹事校が準備する。
- 展示場併設の控室は幹事校で使用する。昼食や休憩はロビーなどを使用する。

キラメッセめまづ 会場配置図

駐車場(各校1台使用可) ※会場の幅内 厳守

搬入口

制服展示コーナー

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
富士見	御西	日大	知徳	桐陽	暁秀	飛龍	加学	星陵	中央	誠恵

6 暁秀
中高等学校

5 桐陽
高等学校

4 知徳
高等学校

3 日大三島
高等学校

2 御殿場西
高等学校

1 富士見
中高等学校

7 飛龍
高等学校

8 加藤学園
高等学校

9 星陵
中高等学校

10 沼津中央
高等学校

11 誠恵
高等学校

資料コーナー

暁秀	6	7	飛龍
桐陽	5	8	加藤学園
知徳	4	9	星陵
日大三島	3	10	沼津中央
御殿場西	2	11	誠恵
富士見	1		

アンケート記入

出入口

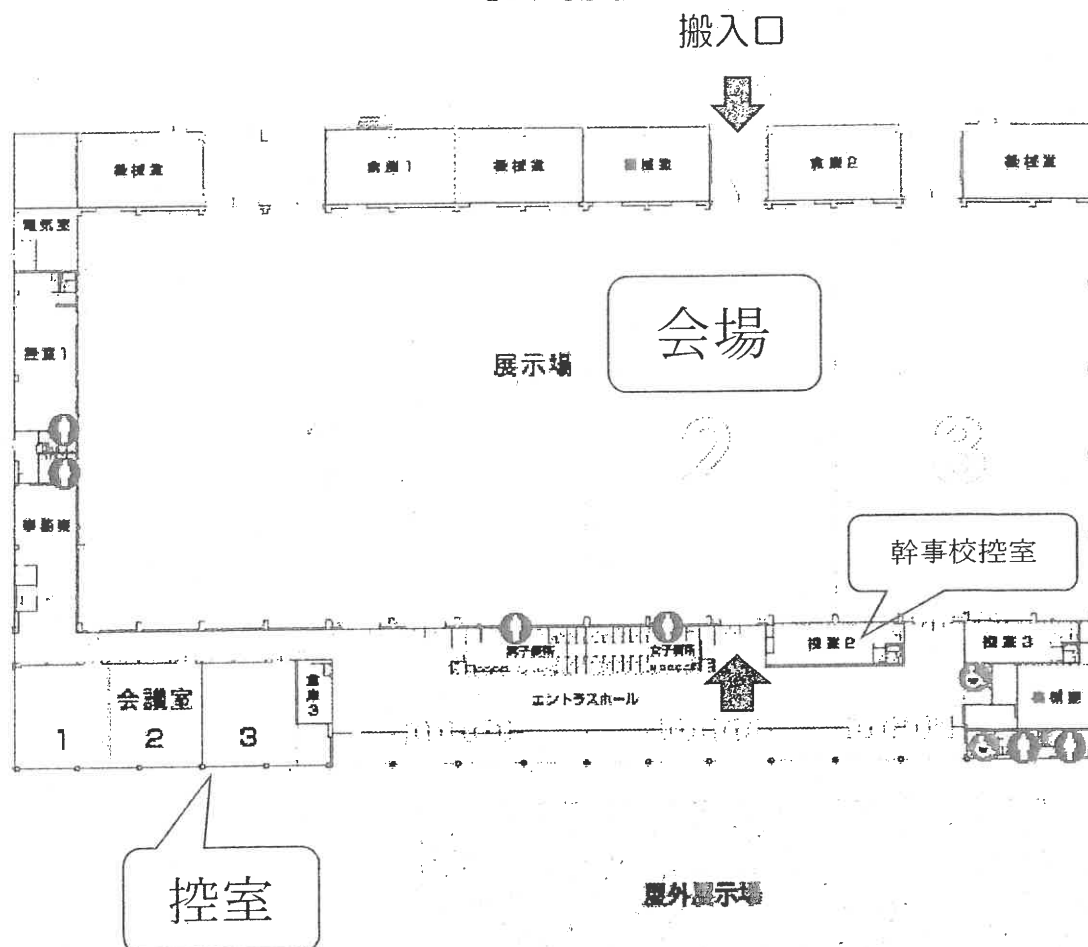
受付・アンケート回収

出入口

控室(幹事校使用)

2022年11月6日（日）【富士会場 ふじさんめっせ】

【会場図】



【会場確認事項】

- 会議室3は控室。昼食や休憩で使用可。
- 搬入口北側の駐車スペースは、各校2台まで駐車できる。その他の車は「砂利駐車場」または一般駐車場を利用できる。（当日は別会場でのイベントあり）
- 駐車券リーダーを受付に設置する（無料）。
- 各ブースは長机2台、椅子16脚とする。不足分の机や椅子の持ち込みは可とするが、他ブースの迷惑にならないよう配慮する。
- 床面への固定は弱粘着テープ（養生テープなど）を各校で準備する。また、パーティションへの固定はメンディングテープのみ使用可とし、テープは幹事校が準備する。

ふじさんめっせ 会場配置図

駐車場(各校2台使用可)

※会場の幅内 厳守

搬入口

制服展示コーナー

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
知徳	桐陽	加学	中央	飛龍	星陵	御西	暁秀	富士見	誠恵	日大

6 星陵
中高等学校

5 飛龍
高等学校

4 沼津中央
高等学校

3 加藤学園
高等学校

2 桐陽
高等学校

1 知徳
高等学校

7 御殿場西
高等学校

8 暁秀
中高等学校

9 富士見
中高等学校

10 誠恵
高等学校

11 日大三島
中学校

資料コーナー

星陵	6	7	御殿場西
飛龍	5	8	暁秀
沼津中央	4	9	富士見
加藤学園	3	10	誠恵
桐陽	2	11	日大三島
知徳	1		

アンケート記入

出入口

受付・アンケート回収

控室(幹事校使用)

会議室1

会議室2

会議室3
控室使用可

静岡県東部地区私立学校相談会について（規約・会則）

「静岡県東部地区私立学校相談会」は、静岡県私学協会東部支部加盟校により運営される「中学生向けの合同進路相談会」の名称であり、同相談会を企画運営する実行委員会の名称でもあります。

（１）加盟校について

静岡県私学協会東部支部「静岡県東部地区私立学校相談会」加盟校は以下の１１校です。

御殿場西高等学校	知徳高等学校
日本大学三島高等学校・中学校	沼津中央高等学校
飛龍高等学校	桐陽高等学校
加藤学園高等学校	加園暁秀中学校・高等学校
誠恵高等学校	星陵中学校・高等学校
静岡県富士見中学校・高等学校	

（２）静岡県私学協会東部支部の活動内容と「静岡県東部地区私立学校相談会」について

（ア）加盟校は静岡県私学協会の指導の下、静岡県東部地域に所在する学校としての責務を全うし、互いに連携・協力をしながら地域の教育振興のために寄与します。

（イ）年２回、静岡県私学協会を主催として１１校が参加する「静岡県東部地区私立学校相談会」（以下、合同相談会）を開催します。運営は各校による実行委員会形式です。

（ウ）実行委員会事務局（幹事校）は１年ごとの持ち回りとなります（令和４年度幹事校：星陵高等学校）。

（エ）合同相談会開催のために年３回、幹事校主催で実行委員会・反省会を開催します。

（オ）幹事校の学校代表（理事長・学校長）をその年度の東部支部実行委員会代表者とします。

（カ）各学校の情報や合同進学相談会などの情報を静岡県東部地域に所在する公立中学校へ適切に伝達するためにポスター・チラシ等を作成し、配布します。

（３）令和４年度 静岡県私学協会東部支部 東部地区私立学校相談会幹事校代表者

渡邊一洋（星陵中学校・高等学校校長）

(第1号様式)

令和4年8月11日

函南町教育委員会

教育長 久保田 浩子 様

住所 函南町平井1696-57

申請者

氏名 齊藤 節子
(連絡先) 978-2737



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	第18回 マンドリン 定期演奏会		
期 日	令和4年 11月23日 (水)		
会 場	長泉町文化センター ベルフォーレ 大ホール		
主催者	団体名	三島マンドリーノ ドルチェ	
	代表者	西 啓 行	
	所在地	三島市松ヶ丘 5-7	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	(有)・無	共 催	な し
	(有りの 場合はそ の名称)	後 援	長泉町教育委員会 三島市三島教育委員会

裏面があります。



事業の対象 と 目 的	・東部地区を中心とした約30名から成る グループです。 ・2000年に結成され定期演奏会は今年で 18回目を迎える。 ・函南町内からも毎回足を運んで下さる方も多くあり マンドリンの魅力を多くの人に伝えたい。														
事業内容	第18回マンドリン定期演奏会 <table border="0"> <tr> <td>1部</td><td>2部</td></tr> <tr> <td>・Dear Dolce</td><td>・海辺の時計台</td></tr> <tr> <td>・80日間世界一周</td><td>・サパテアート(ZAPATEADO)</td></tr> <tr> <td>・パリは燃えているか</td><td>・夕べの微風</td></tr> <tr> <td>・スペイン名曲集</td><td>・鎌倉殿の13人 ミンテ-2</td></tr> <tr> <td>・オルジア (ORGIA)</td><td>・月に舞う</td></tr> </table>			1部	2部	・Dear Dolce	・海辺の時計台	・80日間世界一周	・サパテアート(ZAPATEADO)	・パリは燃えているか	・夕べの微風	・スペイン名曲集	・鎌倉殿の13人 ミンテ-2	・オルジア (ORGIA)	・月に舞う
1部	2部														
・Dear Dolce	・海辺の時計台														
・80日間世界一周	・サパテアート(ZAPATEADO)														
・パリは燃えているか	・夕べの微風														
・スペイン名曲集	・鎌倉殿の13人 ミンテ-2														
・オルジア (ORGIA)	・月に舞う														
申請理由	・馬川染みのある曲やマンドリンオリジナル曲等を 広く知ってもらい マンドリンの魅力を広めたい ・1年間の練習成果の発表の場としたい。														
入場料	有 料 ・ <u>無 料</u>	有料の場合の金額	円												

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

2021 マンドリンコンサート 記録会

MISHIMA MANDOLINO DOLCE

PROGRAM

オープニング Dear Dolce : 白石 伊佐子

We love Mandolin : 吉田 剛士 吉田 剛士・橋爪 皓佐 編曲

歌劇「カルメン」より ハバネラ : G. Bizet 中川 信良 編曲

渚の見える風景 : 小林 由直
～マンドリンオーケストラの為に～

小雨降る径 : H. Himmel 関 隆次 編曲

テネシーワルツ : Redd Stewart & Pee Wee King
卯の花饅頭 編曲

この広い野原いっぱい : 森山 良子 武藤 理恵 編曲

祈り : 堀 雅貴・幡田 賢彦 小関 利幸 編曲

田園組曲、もしくは田園写景 : Salvatore Falbo Giangreco

メンバー紹介

マンドリン

小坂 洋子(長泉) 小川 節子(裾野) 石川 篤子(長泉) 斉藤 節子(函南)
鈴木 治枝(三島) 萩原 すみよ(伊東) 宮崎 成人(三島) 大川 眞千子(伊豆)
小谷 静子(長泉) 阿久津 ひろ子(熱海) 小宮山 眞由美(富士)
橋本 佳典(三島) 小澤敬子(富士)

マンドラ

伊藤 陽子(長泉) 藤田 典子(三島) 宮城 角夫(富士) 鈴木 智晶(沼津)

マンドセロ

西 啓行(三島) 鈴木 友美(三島)

ギター

勝山 康彦(三島) 木田 修久(沼津) 古井 宏岸(長泉)

コントラバス

池田 忍(富士) 鈴木 忍(沼津)

指揮・技術顧問

野崎 浩孝(静岡) 福田 道治(裾野)

<http://www4.tokai.or.jp/dolce/>



曲目紹介

We love Mandolin：コロナ感染拡大が続く中、プロアマ問わず多くの音楽家や団体が不自由な思いをしています。そんな中、マリオネットの吉田剛士氏がマンドリン界隈の素晴らしい合奏文化・人と人のつながりが途絶えることがないように、と願って作曲されました。日本中、いや世界中のマンドリングループが弾いてくれたら～との願いを込めて、無料で楽譜が提供されています。

ハバネラ：オペラ「カルメン」で歌われる有名なアリアであり、別名「恋は野の鳥」とも呼ばれています。第一幕にたばこ工場で主人公カルメンが男性たちを誘惑するシーンで歌われます。半音階で下降するメロディーは、恋の気まぐれを歌った歌詞とよく調和します。カルメンのソロパートから始まり、合唱が加わり盛り上がっていきます。歌い終わったカルメンはドン・ホセに花を投げ与え、次のシーンへと移ります。

渚の見える風景：作曲者の小林由直氏は1961年三重県四日市市に生まれ、15歳より作曲を始めました。山口大学医学部、同マンドリンクラブを経て、現在 内科医を務めながらも多くの優れたマンドリン曲を世に出し続けておられます。本曲は 瞬間ごとに表情を変える海の情景を表現しようと1985年に作曲されたものです。美しく叙情的な旋律と現代的な和声やリズムから、皆様にはどんな渚の風景がご覧いただけるでしょうか。

小雨降る径：1935年頃に ドイツ人のヘンリー・ヒンメルによってタンゴ曲として作曲され、後にフランス語の歌詞がつけられました。日本でも、シャンソン曲かつタンゴ曲として歌われており、1986年度NHK紅白歌合戦で菅原洋一が歌唱しました。「静かな雨 並木の雨 あなたを待つ胸に降る 流れる唄 懐かしい唄 夢をささやく あのメロディー いつの日にか また逢い見ん あられ来るは涙 静かな雨 並木の雨 痛む心にしのび泣く」

祈り：本曲は「東日本大震災による犠牲者の方々のご冥福と、復興への祈りを込めて」マンドリン奏者/作曲家の堀雅貴氏（1985-）と作・編曲家/ピアニストの幡田賢彦氏により共作されました。堀氏は「2021年は忘れられない東日本大震災から10年の月日が経った年になります。10年経っても傷はとても癒えたとは言えません。皆さんが忘れることは無いにせよ、徐々に震災の記憶が風化してきている気がします。祈りは私の作曲した曲の中で最も演奏回数が多く、この10年間全国各地で演奏されています」と語っています。尚、マンドリンオーケストラ用のアレンジは堀氏と親交の深い弁護士/作・編曲家の小関利幸氏によるものです。

田園組曲、もしくは田園写景：この作品は、第3回イルプレットロ誌主催の作曲コンクールにおいて、サルバトーレ・ファルボ・ジャングレコ（1872-1927）が金牌を受賞した曲です。第一楽章の「夕べの祈り」は曲自体が舞曲であるというよりは、踊りの風景の描写とみられ、二楽章の「小さなセレナーデ」、第三楽章の「祭りの朝」と合わせて、祭日の前日の夕べから夜、夜明けまでの一連の風景が表現されています。ソナタ形式、三部形式、ロンド形式からなる古典的なソナタですが、いずれも軽快な楽章であることが特徴的です。今回は内山和穂、柴田孝明、橘直貴、吉住和倫氏らが監修して2020年に出版された校訂版の楽譜でお送りします。

(第1号様式)

令和4年8月2日

函南町教育長 様

住所 三島市大場608番地
申請者 静岡県立三島南高等学校同窓会会長
氏名 長谷川 隆 (連絡先)

後援申請依頼書

三宅 羊子
090-4858 5520

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく
申請いたします。

記

事業名	映 画「二宮金次郎」自主上映会		
期 日	令和4年10月22日(土) 午前の部 10時～12時 午後の部 14時～16時 上映		
会 場	函南町文化センター 大ホール		
主催者	団体名	静岡県立三島南高等学校同窓会	
	代表者	同窓会会長 長谷川 隆	
	所在地	〒411-0803 三島市大場 608 番地	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有 ・ 無 (有りの 場合はそ の名称)	共 催	
		後 援	函南町 静岡新聞社 伊豆日日新聞社 ボイスキュー

裏面があります。



事業の対象と目的	事業の対象者は函南町民及び近隣市町住民。 事業の目的は、映画を通じて幕末期疲弊した 600 余の農村を蘇らせた二宮金次郎の復興にかけた情熱と偉業を、閉塞感漂う現在に於て、再び元気な日本、活力ある地方を地域住民が力をあわせて成し遂げていく気概を取り戻していく一助になればと企画しました。		
事業内容	映画の内容は所謂娯楽映画とは異なり教育・道徳映画に属します。上映会は入場料をいただきますが、本来の配給先設定料金より低額とし、より多くの地域住民、特に若年層の鑑賞し易い上映会を心掛けて運営します。 上映会を主催する三島南高等学校同窓会では、2021 年春、南高野球部の甲子園選抜野球大会出場に際し、同窓生のみならず、地域住民・各種団体・企業より多くの御厚志が寄せられたことへの感謝と御礼の気持ちを映画上映会に込めての企画です。		
申請理由	函南町には多数の三島南高校卒業生が在住し、現在も多くの在校生が函南町から通学してくださり、三島南高校と函南町は切っても切れない間柄です。三島南高校校舎から極近い函南町文化センターの映画上映会に来場くださる多くの函南町民特に若年層の生徒児童に鑑賞いただきたいので、是非とも後援ご協力お願い致します。		
入場料	有 料 ・ 無 料	有料の場合の金額	1000円

※ 開催の事業資料を添付してください。

※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

令和4年8月4日

三島南高校同窓会 映画「二宮金次郎」自主上映会 実行委員会

映画「二宮金次郎」自主上映会 収支予算書 (2回上映分)

収入の部						支出の部			
項目	内容	単価	数量	人数	金額	項目	内容	数量	金額
1 入場料	チケット 大人	1,000	200枚	200	200,000	1 会場費(設備含め)	大ホール使用	一式	110,000
	高校生	800	60枚	60	48,000		(減免申請前)		
	子供(中学生以下～)	500	50枚	50	25,000	2 上映料	～450名まで	一式	400,000
	親子ペア	1,200	40枚	80	48,000	3 機材費		一式	130,000
	高校生ペア	1,500	30枚	60	45,000		消費税額		53,000
2 同窓会負担金					400,000	4 製作費	チケット	1,000枚	21,000
							チラシ A4サイズ	2,000枚	14,000
							ポスター B2サイズ	100枚	22,000
							消費税額		5,700
						7 LINEチケット利用料	売り上げ枚数の%		5,300
						8 諸経費	郵送・事務 経費等		5,000
合計			390枚	450	766,000	合計			766,000